



第 23 回

地球環境問題と人類の存続に関するアンケート

調査報告書

平成 26 年 9 月

公益財団法人 旭硝子財団

# 目次

はじめに .....	1
I. 調査の概要 .....	2
II. 調査結果の概要 .....	3
III. 調査結果 .....	4
1. 人類存続の危機に関する認識—環境危機時計 <sup>®</sup> .....	4
A. 環境危機時刻 .....	4
B. 念頭においた項目 .....	6
C. 念頭においた項目の選択理由の分析 .....	12
D. 環境の現状認識の経時変化 .....	13
2. 回答傾向の分析 .....	14
3. 各地域、国の念頭においた項目の分布 .....	15
IV. データブック .....	27
V. 調査票 .....	35

## はじめに

本報告書は、当財団が平成4年度より実施している「地球環境問題と人類の存続に関するアンケート」の2014年度の調査結果をまとめたものです。本年度も、より多くの方々へ世界の環境専門家の地球環境の現状認識をお伝えしてゆきたいと考えます。

今年の回答者数は皆様のご協力の御陰で2,343件に達し、昨年度の1,364件を大きく凌駕する事が出来ました。改めて皆様へお礼を申し上げます。

ほとんどの地域で回答数が伸び、特にアフリカ、中南米、中東からの回答が増えて、今まであった地域的な回答数の大小が少なくなり、世界をカバーする環境アンケート調査として重みが増して来たと感じます。今回、回答数が増えた事で、一部の地域は従前の地域の括りから独立し、地域的により細かな調査結果を読み取る事が出来るようになりました。これは単独の地域として、統計量の信頼性の与件をクリアできたことによります。このように国または地域として独立できる予備軍はまだまだ存在しており、今後もより多くの皆様のご回答を期待しております。

一昨年から始めたバブルグラフによる世界の“念頭においた項目”と“危機時刻”の関連性の表示を継続し、また年度変化を追えるようにいたしました。さらに本年度は各地域のバブルグラフを提供し、環境有識者の意識が地域や国によってどのように変化するかを見比べ易く致しました。

本年度より記述回答は弊財団のwebサイトに掲載することになりました。従いまして、問2-1-1、問2-1-2、問2-2（自由記述）は、財団のweb (<http://www.af-info.or.jp/questionnaire/result.html>) をご参照ください。

われわれは、本環境アンケートを通じて環境有識者のみならずより多くの方々に環境への関心を持って頂くことにより、地球環境問題の解決に微力ながら貢献することを切に願っています。

回答頂いた方々へもう一度心からの感謝とお礼を申し上げます。また皆様方からの貴重なご助言・ご指導を今後ともたまわりますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

平成26年9月

公益財団法人 旭硝子財団

# I. 調査の概要

調査時期 : 平成26年4月から6月

調査対象 : 世界各国の政府・自治体、非政府組織、大学・研究機関、企業、マス・メディア等で環境問題に携わる有識者(旭硝子財団保有データベースに基づく)

送付数 : 23,953 (海外 22,725 + 国内 1,228)

回収数 : 2,343

回収率 : 9.78%

## 属性別の回収結果

【地域】	回収数	構成比 (%)
日本	460	19.6
海外	1883	80.4
<b>全世界 合計</b>	<b>2343</b>	<b>100</b>
アジア (日本含む)	1156	49.3
オセアニア	98	4.2
北米	250	10.7
中米	68	2.9
南米	144	6.2
西欧	277	11.8
アフリカ	215	9.2
中東	64	2.7
東欧・旧ソ連	71	3.0
<b>全世界 合計</b>	<b>2343</b>	<b>100</b>
途上地域	644	27.5
BRICS諸国	500	21.3
先進地域	1199	51.2
<b>全世界 合計</b>	<b>2343</b>	<b>100</b>
【性別】		
男性	1693	72.3
女性	643	27.4
不明	7	0.3
<b>全体合計</b>	<b>2343</b>	<b>100</b>
【勤務先】		
中央政府	146	6.3
地方自治体	158	6.7
大学・研究機関	910	38.8
非政府系組織	599	25.6
企業	216	9.2
ジャーナリズム	43	1.8
その他	264	11.3
不明	7	0.3
<b>全体合計</b>	<b>2343</b>	<b>100</b>

\* 日本、北米、西欧、韓国、台湾、オーストラリア、ニュージーランドを先進地域、ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカをBRICS諸国、その他の地域を途上地域とした。

\* 本報告書における分析の百分率のベースは、特に説明がない限り、単一回答の設問については回収票数、複数回答の設問については有効回答の延回答件数を使用している。

\* 数値は小数点第1位もしくは第2位を四捨五入してある。

\* 延回答件数ベース：回収票数ではなく、その質問に対してなされた回答の延件数を基数とする。

## II. 調査結果の概要

### A. 継続調査項目

#### 1. 人類存続の危機に関する認識—環境危機時計<sup>®</sup>

- ・本年度の環境危機時計<sup>®</sup>の世界平均は昨年度の9時19分から4分進み9時23分を記録した。
- ・日本の危機時計の平均は9時4分となり、1分戻った。
- ・世界全体では環境危機時刻を決定する際の第一位選択項目（最も念頭においた項目）では、昨年に続いて気候変動が最多数を占め、次いで環境汚染、生物多様性が同率二位、土地利用、水資源が同率の三位となった。（p7グラフ1参照）
- ・世界全体では環境危機時刻を決定する際の第一位選択項目を、危機時刻順に並べると、人口、生物多様性、環境と経済の順に並んだ。（p7グラフ1参照）

### III. 調査結果

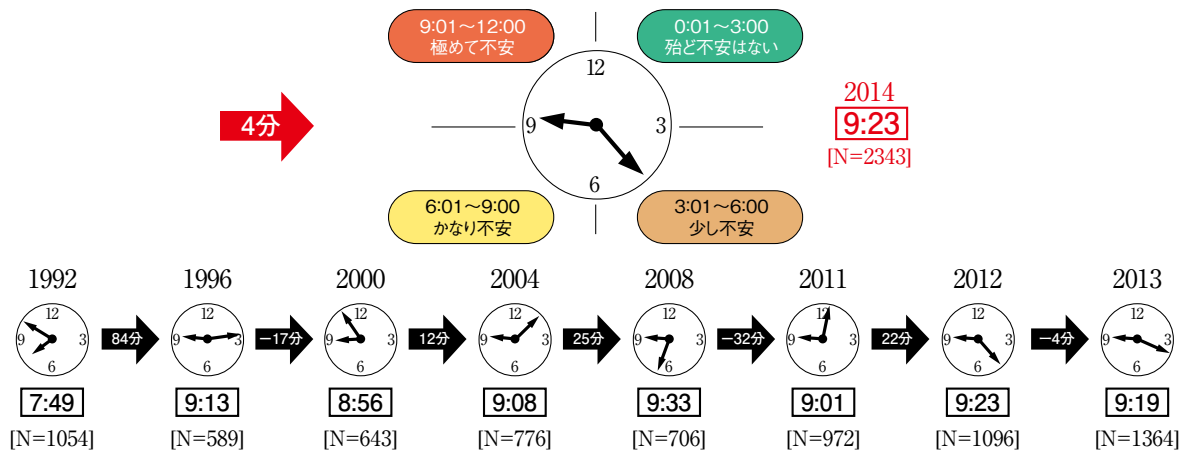
#### 問1. 人類存続の危機に関する認識-環境危機時計<sup>®</sup>

地球全体の問題を念頭に置きながら、あなたがお住まいの国または地域における環境問題を考える上で重要な項目を3つ選んで1位～3位の順位付けをし、それぞれ時計の針に例えて0:10～12:00の範囲で〇〇時〇〇分と答えてください。時刻は便宜上、10分単位でご記入下さい。その他の項目をご提案される場合には、「12. その他」の欄にご記入下さい。

\*危機時刻の決定法について 危機時刻を決めるにあたり、まず考慮した項目の内から重要度の順番に上位3位を決めます。次にそれぞれの項目の危機時刻を決めます。最後に、項目の1位から3位の時刻を加重平均(1位:50%、2位:30%、3位:20%)として環境危機時計<sup>®</sup>の時刻を決定します。

#### A 環境危機時刻

##### 危機時刻の経年変化



	危機時刻の推移			危機時刻の進行(分)	
	'04	'13	'14	'04→'14	'13→'14
全世界	9:08	→ 9:19	→ 9:23	+15	+4
日本	9:06	→ 9:05	→ 9:04	-2	-1
アジア(日本含む)	9:14	→ 9:08	→ 9:15	+1	+7
オセアニア	9:08	→ 10:01	→ 10:08	+60	+7
北米	9:14	→ 10:16	→ 9:55	+41	-21
中米	9:12	→ 9:46	→ 9:12	±0	-34
南米 (中南米)		→ (中南米)	→ 9:23	+11	-23
西欧	8:56	→ 9:40	→ 9:33	+37	-7
アフリカ	9:04	→ 9:42	→ 9:09	+5	-33
中東	8:41	→ 9:08	→ 9:21	+40	+13
東欧・旧ソ連	8:30	→ 9:48	→ 8:59	+29	-49
途上地域	*	→ *	→ 9:14	*	*
BRICS諸国	*	→ *	→ 9:29	*	*
先進地域	*	→ *	→ 9:26	*	*

(昨年と比べて赤は針が進んだ時刻、緑は針が戻った時刻)

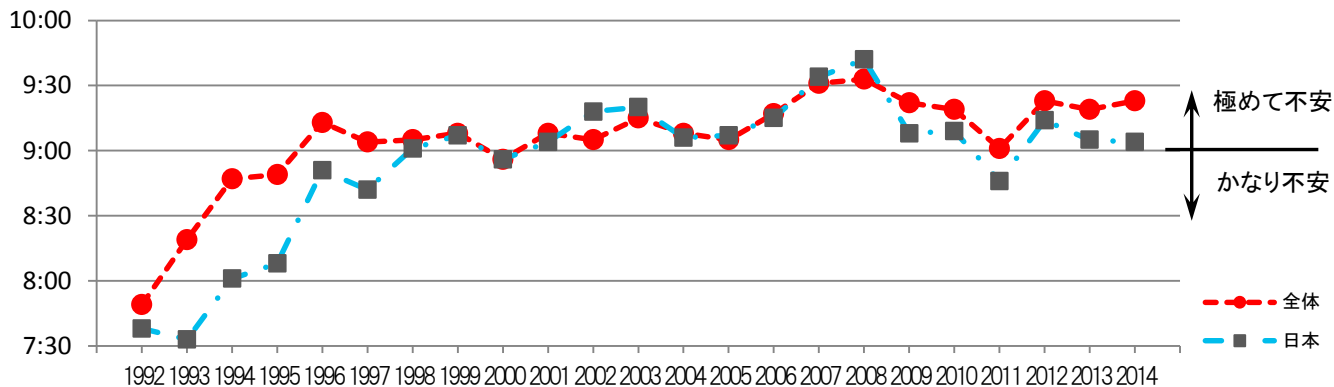
- ・本年度の環境危機時計<sup>®</sup>の世界平均は昨年度の9時19分から4分進み9時23分を記録した。
- ・日本の危機時計の平均は9時4分となり、1分戻った。

### 環境危機時刻の推移

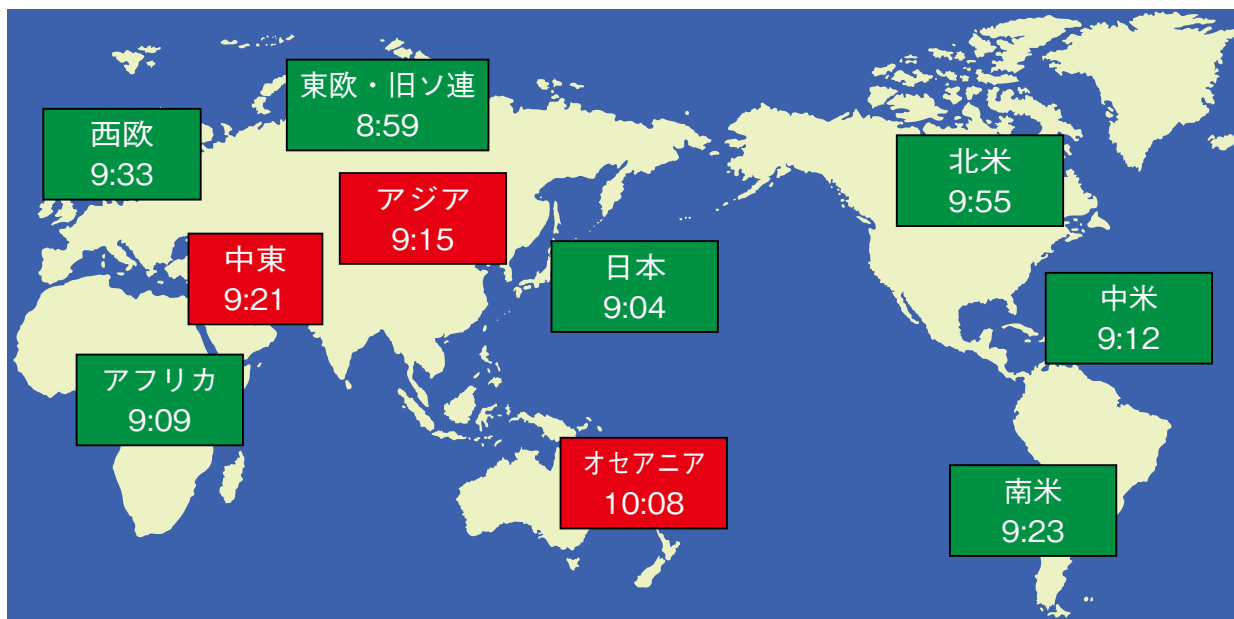
(全体)

1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
7:49	8:19	8:47	8:49	9:13	9:04	9:05	9:08	8:56	9:08	9:05	9:15	9:08	9:05	9:17	9:31	9:33	9:22	9:19	9:01	9:23	9:19	9:23

(調査開始以来、青字は危機感が最も低く、赤字は最も高い)



### 各地域の危機時刻



(赤でハイライト：昨年より時刻が進んだ地域・国)  
 (緑でハイライト：昨年より時刻が戻った地域・国)  
 ※中米、南米は中南米との比較

## B 念頭においた項目

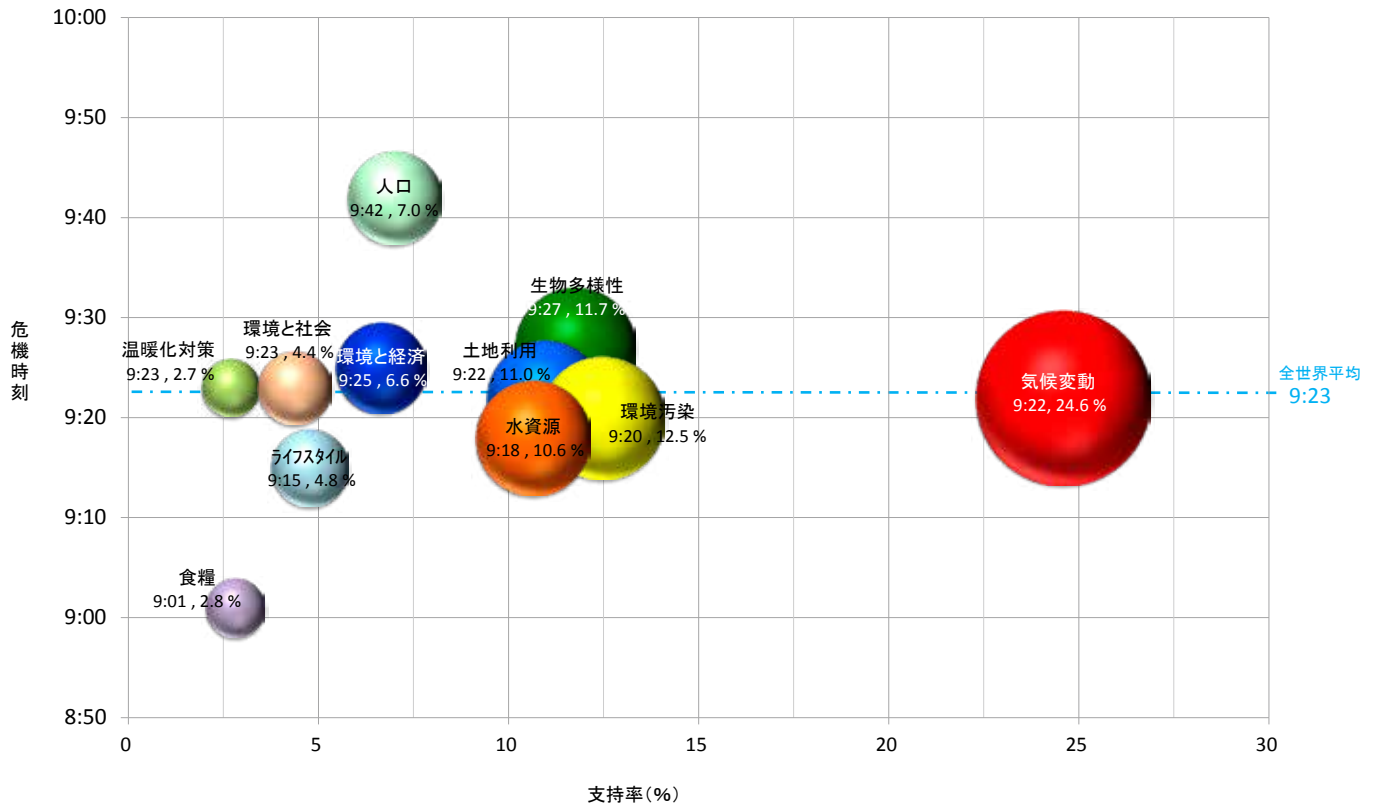
### 地球環境の状況

項目	あなたがお住まいの地域で観察されること（例）
1. 気候変動	大気中 CO <sub>2</sub> 濃度や海洋酸性度の増加 早魃、大雨・洪水、暴風雨、大雪、異常低温・高温、河川・湖沼の干上がり、砂漠化などの悪化(増加、頻発化、巨大化)
2. 生物多様性	絶滅する生物種(見かけなくなった生物)の増加
3. 土地利用	耕作地面積の増大 乱開発による森林破壊の拡大 過放牧による砂漠化や環境に配慮しない農業ないし土地利用の拡大 既存都市の拡大や新たな都市の発生
4. 環境汚染	過剰な窒素やリン分による富栄養化や化学物質などによる河川・海洋・土壌汚染の増加 浮遊物質や煤、化学物質による大気汚染の増加
5. 水資源	枯渇や汚染による利用可能な淡水の減少
6. 人口	地域や国全体の人口増加 国全体の人口増減とは無関係な都市人口の増加
7. 食糧	陸や海の食糧資源の減少
8. ライフスタイル	エネルギー・資源多消費型スタイルからの転換
9. 温暖化対策	緩和策・適応策の進捗
10. 環境と経済	環境コストの経済システムへの組込(化石燃料への課税など)や TEEB(生態系と生物多様性の経済学)の採用などの進捗 グリーンエコノミーの実現、持続可能な経済発展など、環境配慮型経済運営の進捗
11. 環境と社会	環境問題に対する認識や環境教育の進展 貧困問題の解決の改善
12. その他*	( )



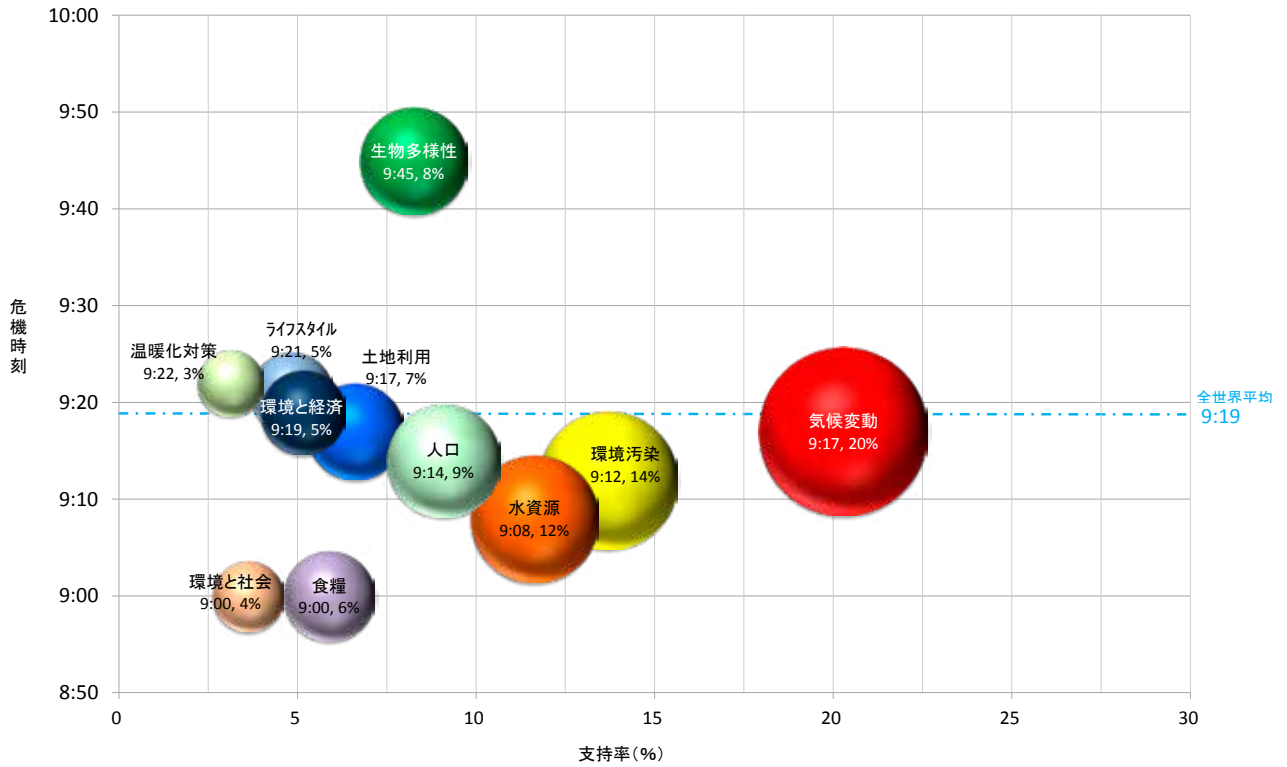
1) 念頭においた項目(第1～3位選択)の分布(項目ごとの危機時刻と支持率)

グラフ 1. 本年度(2014年)全体

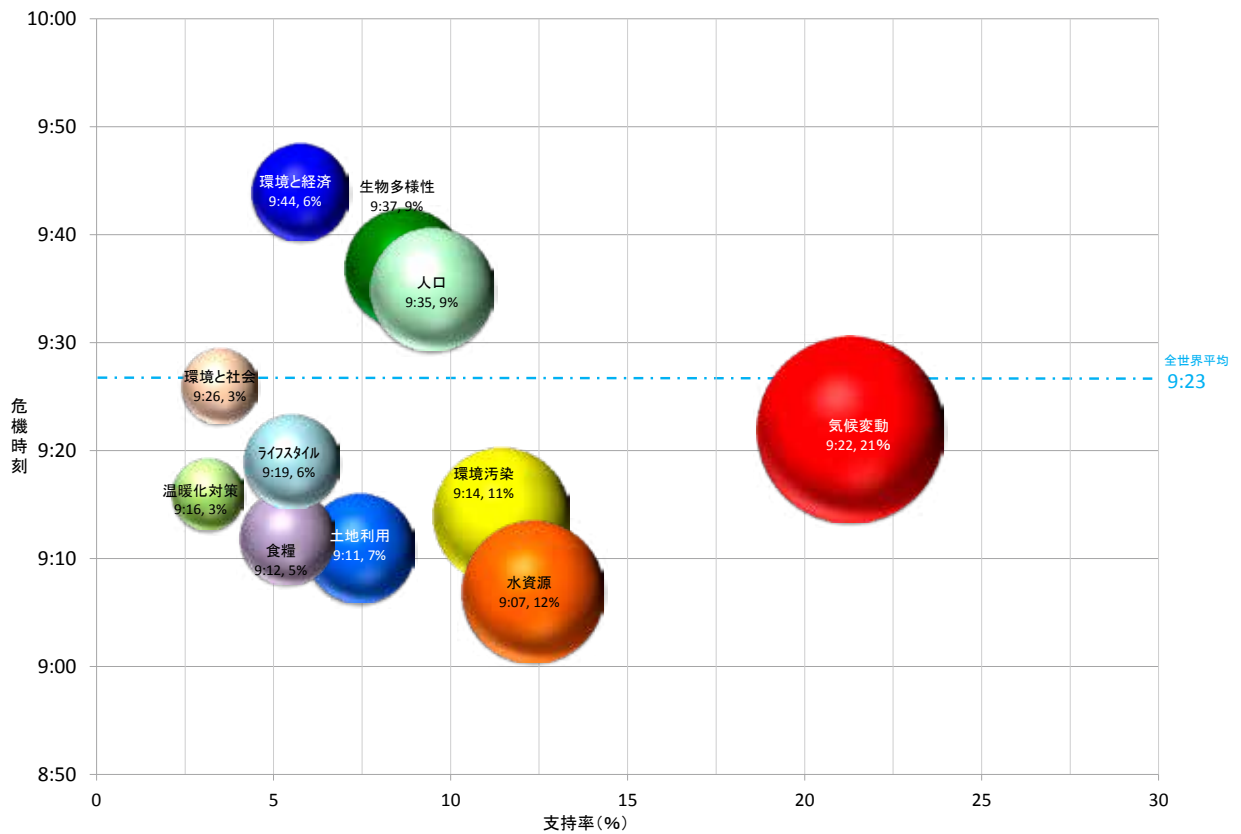


- 念頭においた項目を支持率の高い順に整理すると、世界全体では、“気候変動”(24.6%)が最多数を占め、次いで“環境汚染”(12.5%)、“生物多様性”(11.7%)、“土地利用”(11.0%)、“水資源”(10.6%)の順に並んだ。
- 念頭においた項目の中で、“人口”が危機時刻9時42分を示し危機意識が際立っている。その他の項目の危機時刻の分布は9時1分～9時27分の間収束した。

グラフ2. 2013年度 全体 (参考)

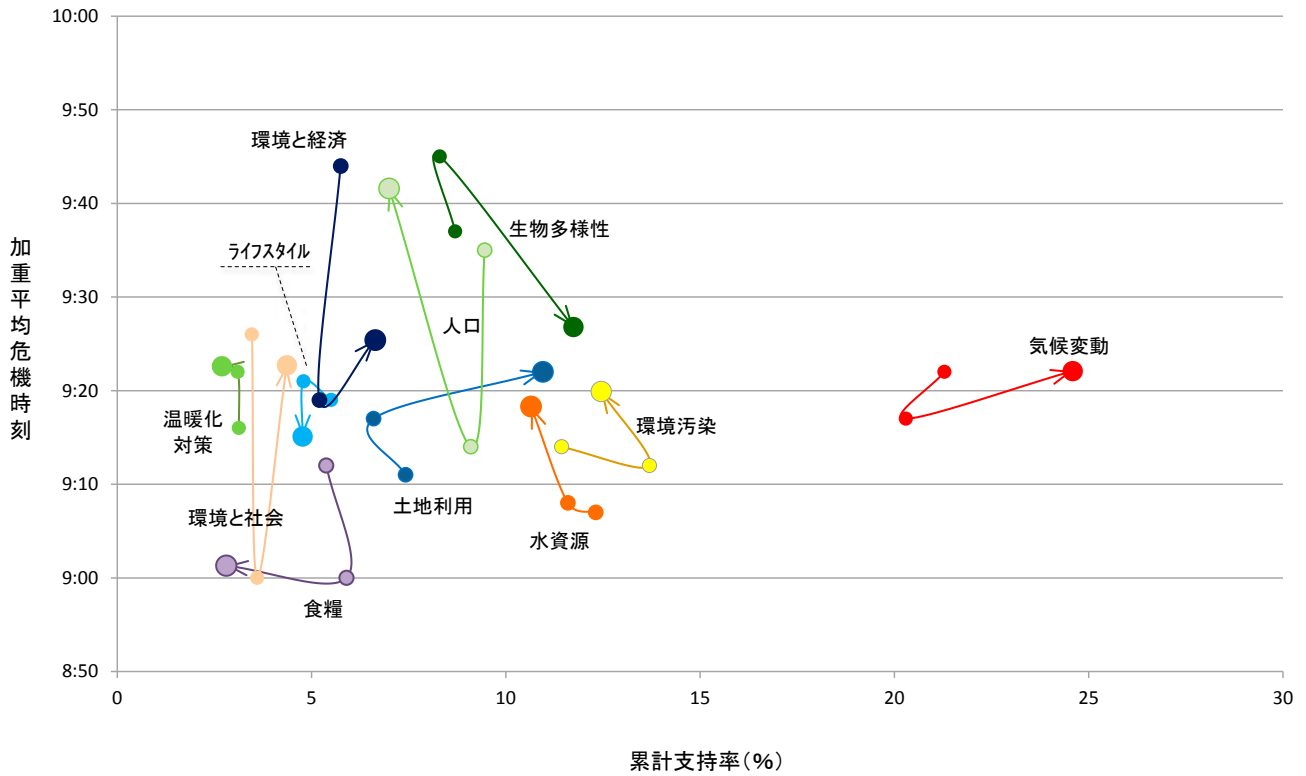


グラフ3. 2012年度 全体 (参考)



## 2) 危機時刻／支持率の分布の年次変化

グラフ4



### 3) 各地域の念頭においた項目の選択傾向

単位%

地域	1. 気候変動	2. 生物多様性	3. 土地利用	4. 環境汚染	5. 水資源	6. 人口	7. 食糧	8. ライフスタイル	9. 温暖化対策	10. 環境と経済	11. 環境と社会	12. その他
<b>全体</b>	<b>25</b>	<b>12</b>	<b>11</b>	<b>12</b>	<b>11</b>	7	3	5	3	7	4	1
<b>アジア(全)</b>	<b>26</b>	8	8	<b>18</b>	10	6	4	5	4	6	4	1
日本	<b>32</b>	8	5	<b>10</b>	6	6	6	7	6	7	4	3
インド	<b>18</b>	<b>15</b>	12	<b>10</b>	<b>15</b>	13	3	2	1	4	5	1
中国	<b>18</b>	4	7	<b>37</b>	14	5	2	2	3	7	3	0
台湾	<b>30</b>	5	13	<b>23</b>	7	3	2	2	5	6	3	1
韓国	<b>33</b>	9	5	12	4	2	4	<b>15</b>	1	6	5	4
アジア (日、印、中、台、韓以外)	<b>23</b>	<b>17</b>	<b>17</b>	8	15	9	2	1	1	4	3	0
<b>オセアニア</b>	<b>34</b>	<b>18</b>	8	3	10	11	1	2	2	6	4	1
オセアニア (オーストラリア以外)	<b>37</b>	<b>15</b>	11	4	9	11	4	0	0	6	2	0
オーストラリア	<b>33</b>	<b>18</b>	8	2	11	11	1	3	2	6	5	1
<b>北米</b>	<b>32</b>	<b>11</b>	7	5	<b>11</b>	<b>10</b>	2	6	3	7	3	1
米国	<b>31</b>	<b>11</b>	7	5	<b>12</b>	<b>11</b>	2	6	4	7	3	1
カナダ	<b>38</b>	<b>10</b>	8	3	6	8	1	9	2	<b>10</b>	3	1
<b>中米</b>	<b>26</b>	<b>21</b>	8	4	6	12	0	4	2	10	5	2
<b>南米</b>	<b>15</b>	<b>16</b>	<b>23</b>	9	11	4	0	4	1	7	8	2
<b>西欧</b>	<b>23</b>	<b>17</b>	12	7	6	8	1	7	2	10	5	1
UK	<b>26</b>	<b>21</b>	8	4	6	12	0	4	2	10	5	2
西欧 (UK以外)	<b>22</b>	<b>16</b>	14	8	6	6	2	8	1	10	6	1
<b>アフリカ</b>	<b>21</b>	<b>16</b>	<b>20</b>	6	14	7	4	2	1	3	4	1
<b>中東</b>	<b>15</b>	<b>16</b>	<b>23</b>	9	11	4	0	4	1	7	8	2
<b>東欧・旧ソ連</b>	<b>23</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	7	2	4	2	6	4	1
<b>途上地域</b>	<b>21</b>	15	<b>17</b>	8	14	7	2	3	1	5	5	1
<b>BRICS諸国</b>	<b>17</b>	8	10	<b>27</b>	14	7	2	2	2	6	4	0
<b>先進地域</b>	<b>30</b>	<b>11</b>	8	9	7	7	3	7	4	8	4	2

(赤は支持率1位、青は支持率2位)

- 全体では、“気候変動”(25%)が支持率第一位を占め、環境汚染、生物多様性(12%)、土地利用、水資源(11%)の順が続いた。  
ほとんどの地域において気候変動が支持率第一位となるなか、南米、アフリカ、中東は、土地利用が支持率第一位を占めた(アフリカは気候変動とほぼ同率)。  
また中国においては、環境汚染が支持率第一位を占めた。オセアニア、北米、中米、南米、西欧、アフリカ、中東、東欧・ソ連において、生物多様性が支持率第二位を占めた。

#### 4) 念頭においた項目の危機時刻の地域分布

地域	全体	1. 気候変動	2. 生物多様性	3. 土地利用	4. 環境汚染	5. 水資源	6. 人口	7. 食糧	8. ライフスタイル	9. 温暖化対策	10. 環境と経済	11. 環境と社会
<b>全体</b>	9:23	9:22	9:27	9:22	9:20	9:18	9:42	9:01	9:15	9:23	9:25	9:23
<b>アジア(全)</b>	9:15	9:09	9:14	9:10	9:23	9:25	9:21	8:55	9:02	9:15	9:13	9:12
日本	9:04	9:05	9:15	8:32	8:55	8:59	9:02	8:44	8:59	9:07	8:45	8:49
インド	9:04	8:55	8:58	9:40	8:57	8:58	9:29	9:42	-	10:33	9:15	8:44
中国	9:38	9:28	8:22	9:37	9:47	9:58	9:40	9:50	9:09	9:38	9:40	9:34
台湾	8:42	8:27	8:51	8:25	8:32	-	-	-	-	8:59	9:57	-
韓国	9:27	9:43	9:36	-	9:43	-	-	-	9:02	-	9:34	-
アジア (日、印、中、台、韓以外)	9:11	8:38	9:12	9:20	9:14	9:16	9:14	9:07	10:33	-	9:38	10:38
<b>オセアニア</b>	10:08	10:16	10:10	9:36	11:10	9:28	10:35	8:29	10:27	-	10:16	10:35
オセアニア (オーストラリア以外)	10:12	10:16	-	10:27	-	-	-	-	-	-	-	-
オーストラリア	10:07	10:16	10:06	9:20	-	9:26	10:34	-	10:27	-	10:29	10:32
<b>北米</b>	9:55	10:07	10:15	9:13	8:42	9:25	10:37	9:05	10:04	10:18	9:54	9:37
米国	9:57	10:12	10:18	9:14	8:39	9:27	10:34	8:45	10:13	10:20	10:05	9:40
カナダ	9:43	9:31	9:55	9:06	-	8:30	11:04	-	9:32	-	9:14	-
<b>中米</b>	9:12	9:04	9:00	9:14	9:21	8:25	10:04	-	9:38	-	9:21	9:13
<b>南米</b>	9:23	9:15	9:27	9:40	9:22	9:25	9:45	-	9:10	-	9:14	9:18
<b>西欧</b>	9:33	9:42	9:54	9:33	9:00	9:06	9:34	9:47	9:10	9:14	9:36	9:14
UK	9:49	9:42	10:04	10:14	9:51	9:58	10:11	-	9:11	8:59	9:10	10:08
西欧 (UK以外)	9:27	9:42	9:48	9:27	8:51	8:58	9:10	9:47	9:07	10:11	9:41	8:57
<b>アフリカ</b>	9:09	9:05	9:04	9:25	8:52	8:58	9:47	9:20	8:55	9:36	8:48	8:56
<b>中東</b>	9:21	8:46	8:32	9:39	9:06	10:06	8:32	-	-	-	10:40	11:03
<b>東欧・旧ソ連</b>	8:59	8:33	8:53	9:31	8:53	7:36	10:09	-	9:49	-	9:35	9:31
<b>途上地域</b>	9:14	9:01	9:03	9:25	9:11	9:11	9:34	9:02	9:27	9:26	9:30	9:36
<b>BRICS諸国</b>	9:29	9:13	9:17	9:44	9:38	9:34	9:42	9:22	8:58	9:45	9:27	9:06
<b>先進地域</b>	9:26	9:32	9:48	9:05	9:03	9:09	9:47	8:57	9:14	9:20	9:23	9:21

(赤は10時台、黄は9時台、緑は8時台)

- オセアニアは昨年に続き全項目を平均した危機時刻が10時を超え、台湾を除くその他の地域は、平均が9時台となった。米国とオーストラリアは危機時刻が10時を超える項目をそれぞれ6項目以上を擁しており、全般的に危機意識が強い。

## C 念頭においた項目の選択理由の分析

1-2.

1-1で選択した3つの項目それぞれについて、表2から選択した理由に近い番号を選んでご記入下さい。複数の場合はカンマで区切って下さい。その他(番号6)の場合には、理由をご記入下さい。

番号	選択した理由	番号	選択した理由
1	観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	4	多くの環境問題に共通する根本的な原因である
2	悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	5	環境問題の解決を遅らせている最大の要因である
3	影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	6	その他(解答欄にご記入ください)

### 項目選択の理由

問1-2	第1位を選択した理由					第2位を選択した理由					第3位を選択した理由					
	1.観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	2.悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	3.影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	4.多くの環境問題に共通する根本的な原因である	5.環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	1.観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	2.悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	3.影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	4.多くの環境問題に共通する根本的な原因である	5.環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	1.観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	2.悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	3.影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	4.多くの環境問題に共通する根本的な原因である	5.環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	
全体(以下の項目総和)	1055	1126	990	1272	683	943	1091	954	1134	599	901	937	907	1126	638	
念頭においた項目	1.気候変動	465	374	403	427	156	172	156	157	168	71	146	107	127	130	44
	2.生物多様性	114	151	73	89	24	181	212	124	114	22	130	146	90	97	29
	3.土地利用	93	113	79	126	77	117	151	119	126	68	151	164	138	157	89
	4.環境汚染	178	239	203	204	136	144	170	141	139	75	107	110	93	91	41
	5.水資源	79	113	73	96	28	152	187	164	183	69	138	172	153	126	59
	6.人口	51	43	51	118	88	36	44	42	86	58	61	56	61	105	50
	7.食糧	7	14	16	13	6	27	29	47	30	10	33	33	58	33	22
	8.ライフスタイル	14	11	16	52	43	28	33	36	80	58	35	37	39	106	80
	9.温暖化対策	9	10	21	24	15	23	34	40	44	32	25	32	29	34	23
	10.環境と経済	32	38	44	74	71	40	50	57	105	85	35	41	66	133	103
	11.環境と社会	13	20	11	49	39	23	25	27	59	51	40	39	53	114	98

(延べ件数1位は赤、2位は青)

選択理由の集計結果に極端な差異は生じなかったが、以下に述べるいくつかの傾向が現れている。

- ・“全体(各項目の件数の総和)”では、第一位～第三位選択理由とも、“多くの環境問題に共通する根本的な原因である”が第1位を、“悪化の度合いが最も大きい”が第2位を占めた。
- ・以下念頭においた項目ごとに結果を追ってみると、今年の念頭においた項目で最大の選択率を示した“気候変動”を選んだ理由は、“観察されるケースの増加が最も大きい”が第1位を、“多くの環境問題に共通する根本的な原因である”が第2位を占めた。
- ・危機時刻が一番進んだ項目“人口”は、“多くの環境問題に共通する根本的な原因である”が第1位を、“環境問題の解決を遅らせている最大の要因である”が第2位を占めた。(第一位、第二位選択理由)
- ・同様に“ライフスタイル”、“環境と経済”、“環境と社会”は、第一位～第三位選択理由とも、“多くの環境問題に共通する根本的な原因である”が第1位を、“環境問題の解決を遅らせている最大の要因である”が第2位を占めた。
- ・“生物多様性”は、第一位～第三位選択理由とも、“悪化の度合いが最も大きい”が第1位を、“観察されるケースの増加が最も大きい”が第2位を占め、状況の悪化が激しいことに深い関心が集まっていることを示している。
- ・総合すると、危機時刻の第一位～第三位選択理由とも選択した理由そのものに大差は無く、環境問題や事象の激しさの程度や、その原因の根深さの度合いで、第一位～第三位を選んでいると考えられる。

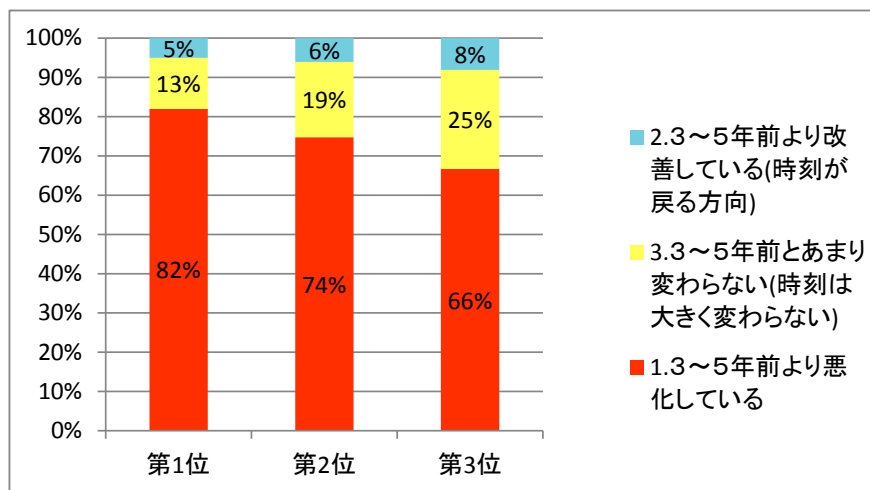
## D 環境の現状認識の経時変化

1-3.

1-1で選択した3つの項目それぞれの現在の状況について、以下の1～3から選んでその番号をご記入下さい。

1. 3～5年前より悪化している      2. 3～5年前より改善している  
    (時刻が進む方向)                      (時刻が戻る方向)
3. 3～5年前とあまり変わらない  
    (時刻は大きく変わらない)

第一位～第三位項目の現状認識



- ・第一位、二位、三位項目とも状況の悪化を挙げる回答者がそれぞれ82%、74%、66%と大多数を占めた。第一位～三位項目を決める基準は、状態悪化の程度の差によることが推定される。
- ・状態が改善しているとする回答者は、第一位、二位、三位項目それぞれ5%、6%、8%存在する。(但し、問2の記述を勘案すると、自身の地域限定の改善であり、いずれも全世界では悪化するとの理解であった。)

## 問2-1-1. 回答傾向の分析

何も対策が取られなかった場合、あなたがお住まいの国または地域の環境、または地球環境は、今から10年後ごろにはどのような状況になると想定されますか。  
想定される状況をご記入下さい。

自由記述 傾向分析 問2-1-1	深刻な社会問題の 発生  民族移動、諸コスト の上昇、疾病、食糧 問題 等	異常気象の増大、 激化  温暖化ガスの増加	極端な事象、災害の 増加  氾濫、渇水、生物多 様性の減少、種の絶 滅、海面上昇 等	チッピング・ポイン ト超え  非可逆点を超えるか もしれない
延べ総数	1304	1208	912	47

(延べ件数1位を赤、2位を青で表示)

- ・全体としては、“深刻な社会問題の発生”を予測する意見が第一位を占め、次に“異常気象の増大”“極端な災害の増加”と続いた。この傾向は一般的であり、危機時刻を決める拠り所としてどの項目を第一位項目として選んだかに、あまり左右されない結果となった。  
回答者の思考の基本の流れは①異常気象増大、②極端な災害の増加、③深刻な社会問題の発生として因果関係を捉えていると思われる。(②を記述するか否かは、③へ至るメカニズムを丁寧を示すかあるいは省略してしまうかの選択に依り、基本的な差異は無いと推定している。)全体ではチッピング・ポイントについて“断言は出来ないが10年後には超えている”と考える回答が50件弱存在した。また少数であるが、世界の環境は悪化するが自分の居住する地域の環境は改善していくとする意見があった。

## 問2-1-2. 回答傾向の分析

2-1-2 想定される状況を回避するために、あなたと私達全員が今やらなくてはいけないことは何でしょうか。あなたのお考えを自由にご記入下さい。

自由記述 傾向分析 問2-1-2	政府、世 界的機関 政策決定 者、世界 的行動	環境問題 の認識、 理解の向 上 教育	世界経済 の変換 産業生産 ／消費	ライフスタイル の変更 個人の価 値観	温暖化ガ ス抑制 化石燃料 削減車な ど装置効 率化／稼 働削減	社会的対 応 含む NGO	法制・税 制の適正 化	緩和策	技術 研究、開 発、移転	適応策	再生可能 エネル ギーの導 入
延べ総計	940	569	439	396	360	346	344	153	152	149	141

(延べ件数1位を赤、2位を青、3位を黄色で表示)

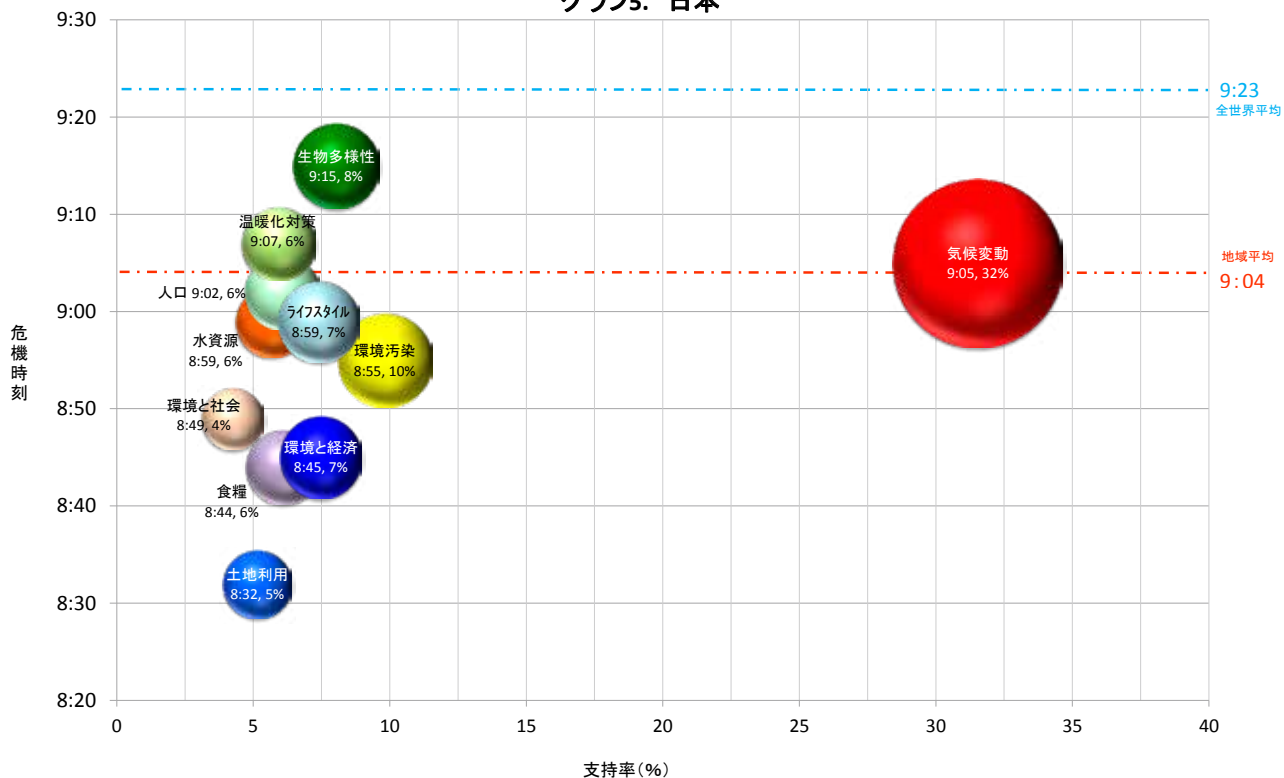
- ・全体としては、“政府、世界的機関”の活躍に期待する内容が一番多く、次いで教育や広報努力などによる“環境問題の認識、理解の向上”をあげる意見が続いた。その次に“世界経済の変換”、“ライフスタイルの変更”、“温暖化ガス抑制”、“社会的対応”、“法制・税制の適正化”が続いた。“緩和策”、“適応策”、“技術の研究、開発、移転”、“再生可能エネルギーの導入”について直接言及する意見は、比較的少ない。  
回答者の思考プロセスを見てみると、“政府、世界的機関”の活躍により環境を大事にする経済へ転換を図り、“法制・税制の適正化”の実施、“温暖化ガス抑制”、“緩和策”、“適応策”、“技術の研究、開発、移転”などを通じて具体的な環境対策を遂行することを想定している例が多い。また“環境問題の認識、理解の向上”や“社会的対応”により、個人や社会の考え方を修正し、さらに政府などに働きかけることによる環境改善を目指していることがわかる。

※本年度より記述回答は弊財団のwebサイトに掲載することになりました。従いまして、問2-1-1、問2-1-2、問2-2(自由記述)は、財団のweb (<http://www.af-info.or.jp/questionnaire/result.html>) をご参照ください。

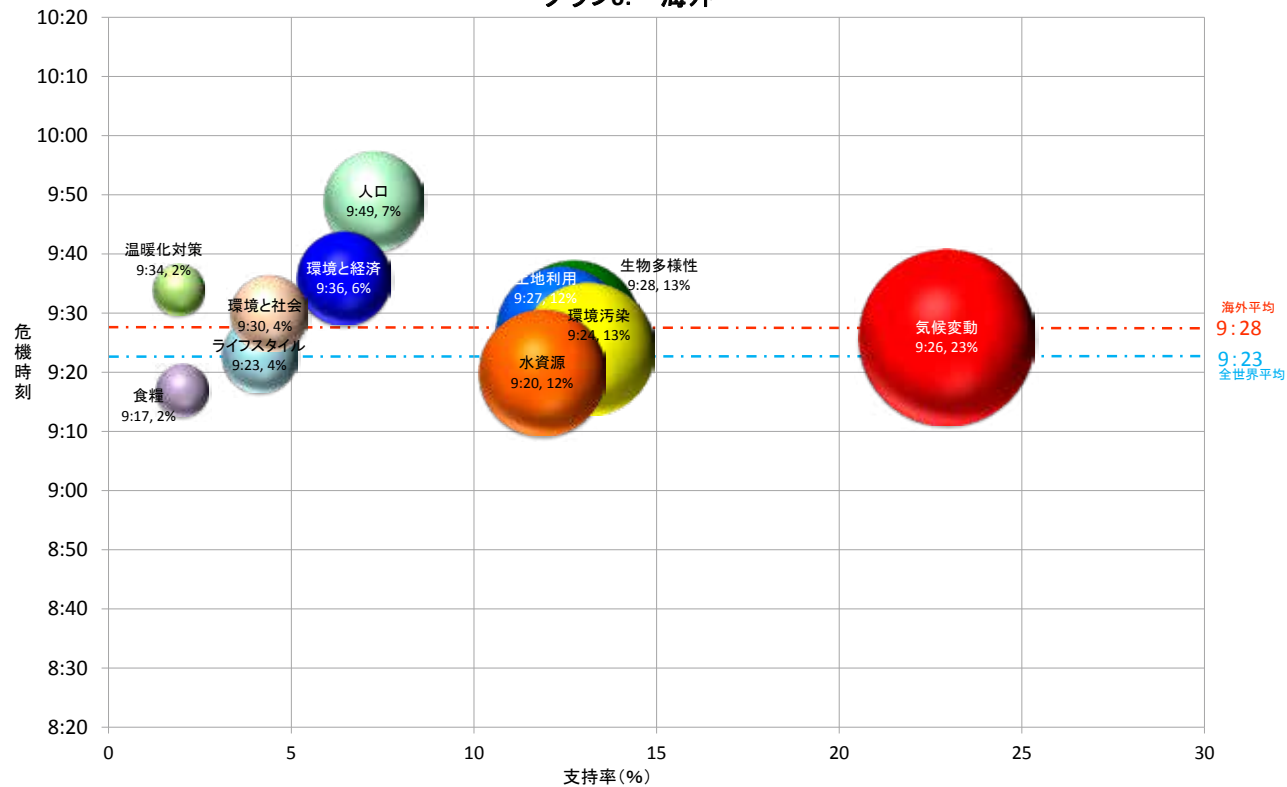


参考)各地域、国の念頭においた項目(第1位~3位選択)の分布(項目ごとの危機時刻と支持率)

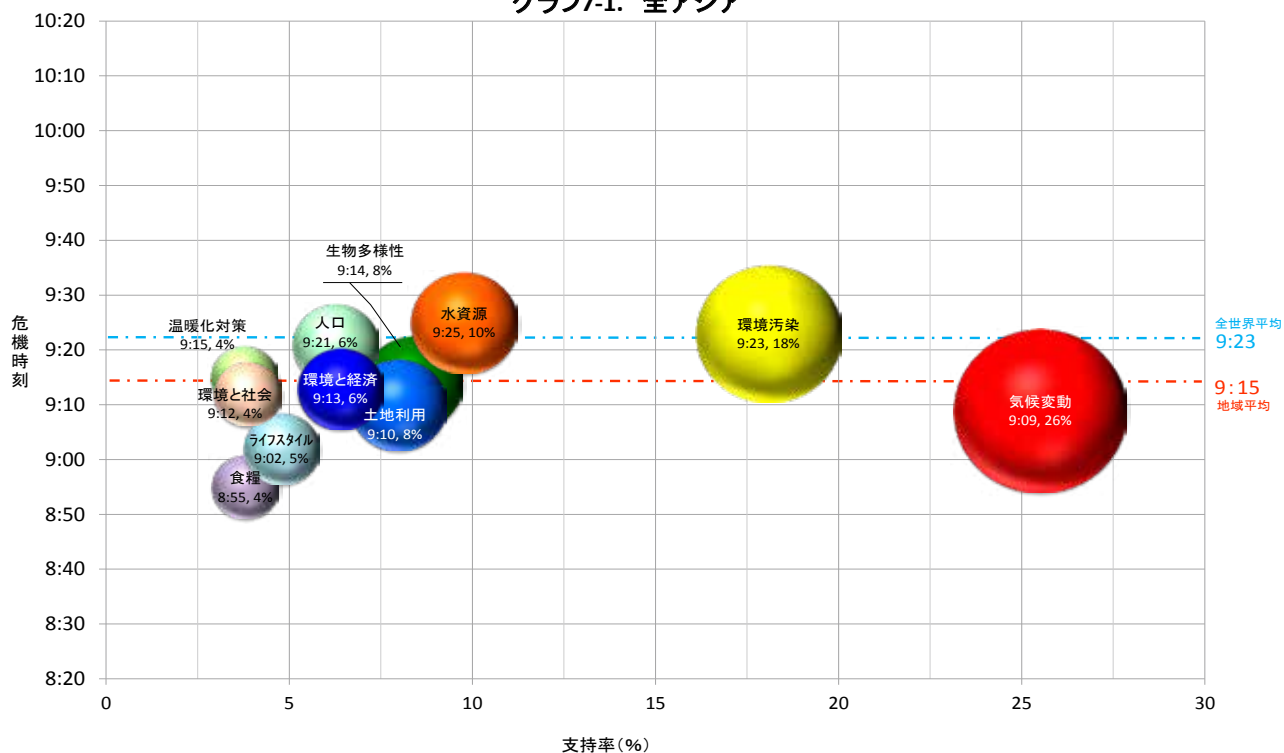
グラフ5. 日本



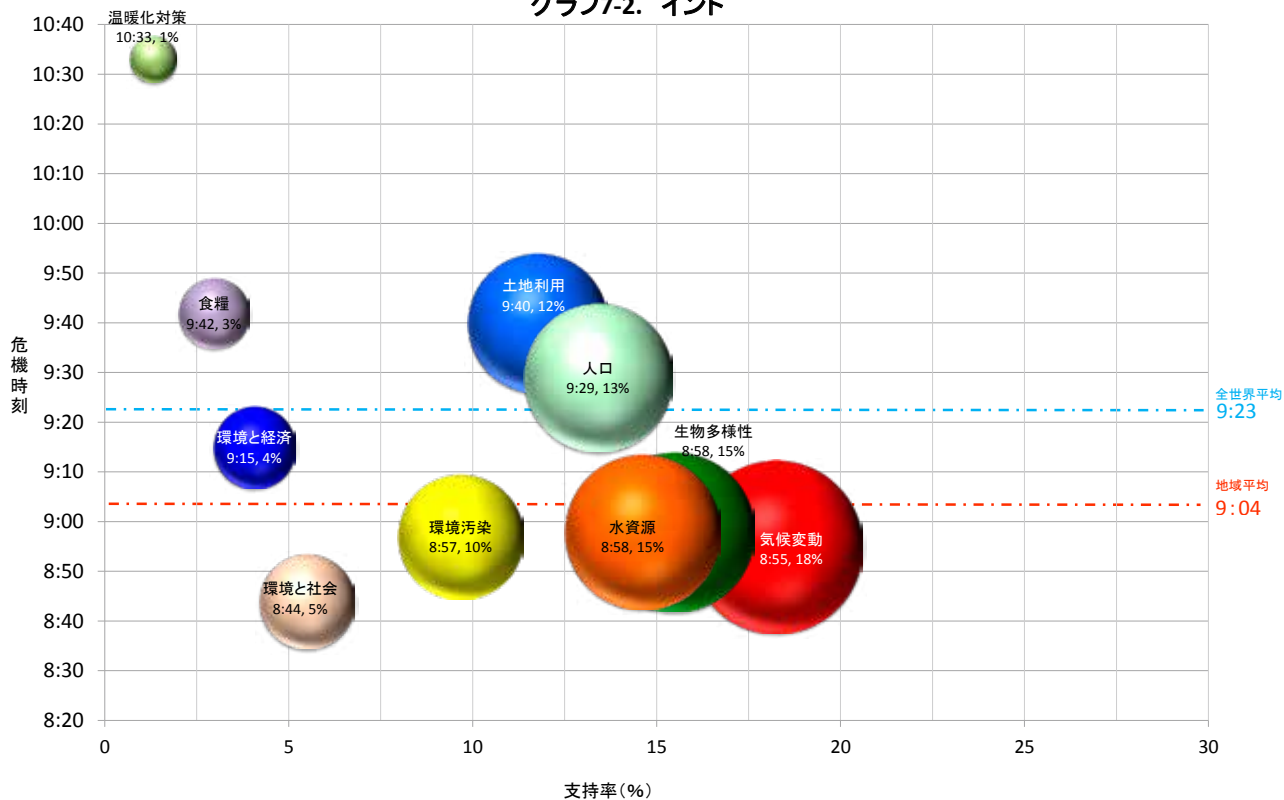
グラフ6. 海外



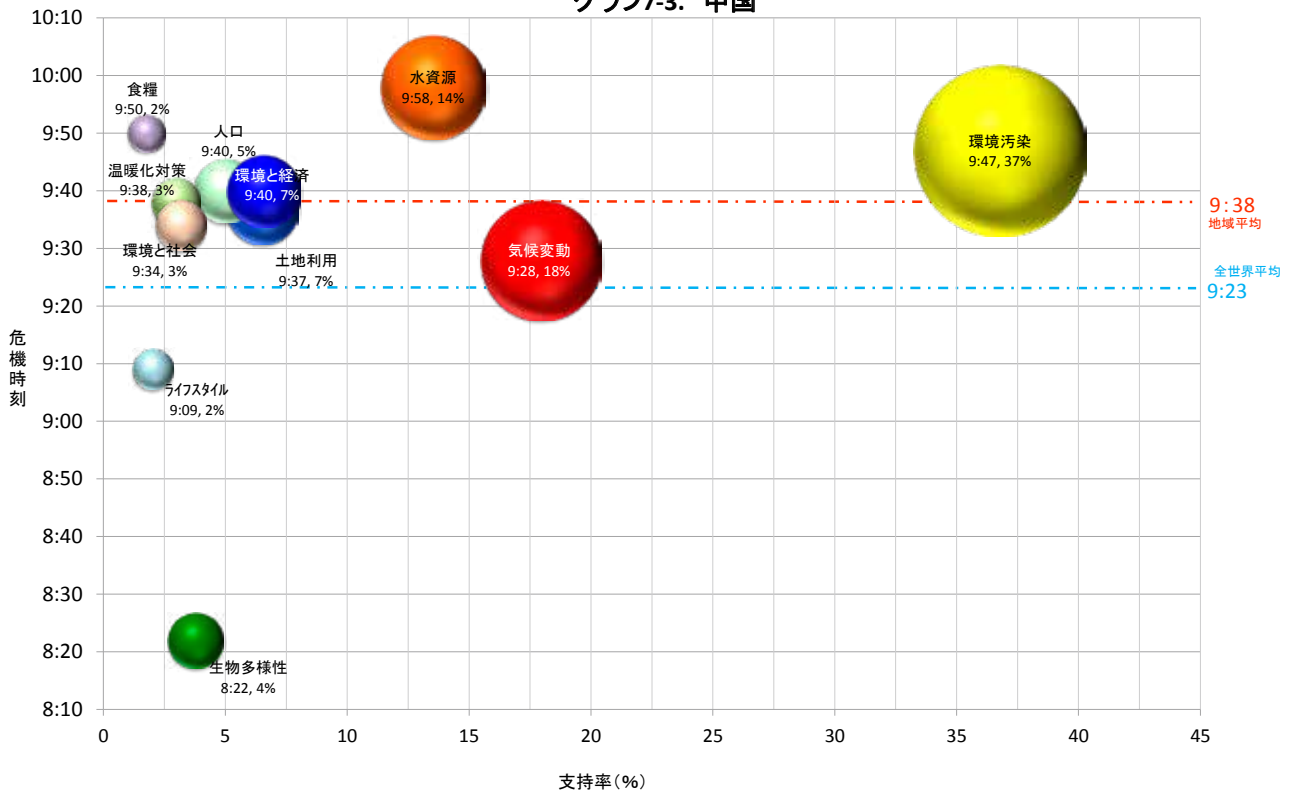
グラフ7-1. 全アジア



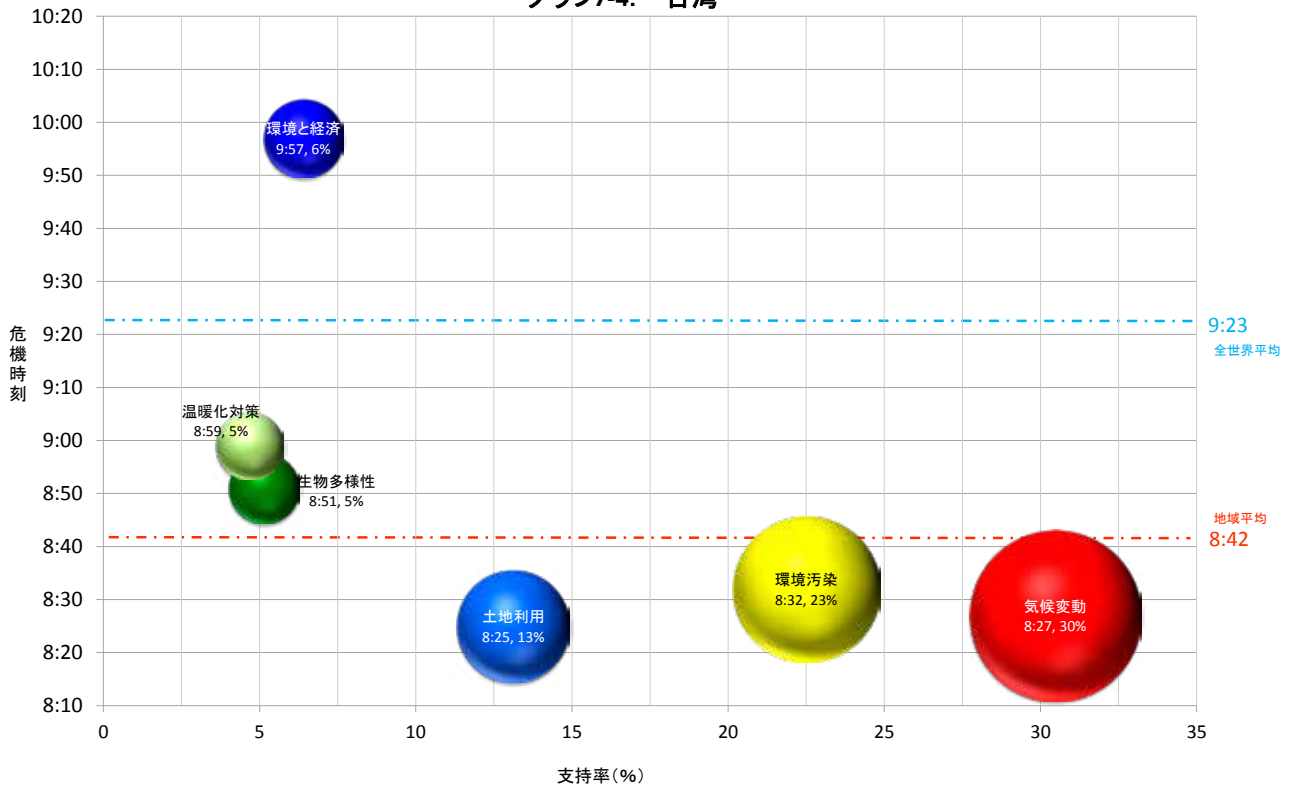
グラフ7-2. インド



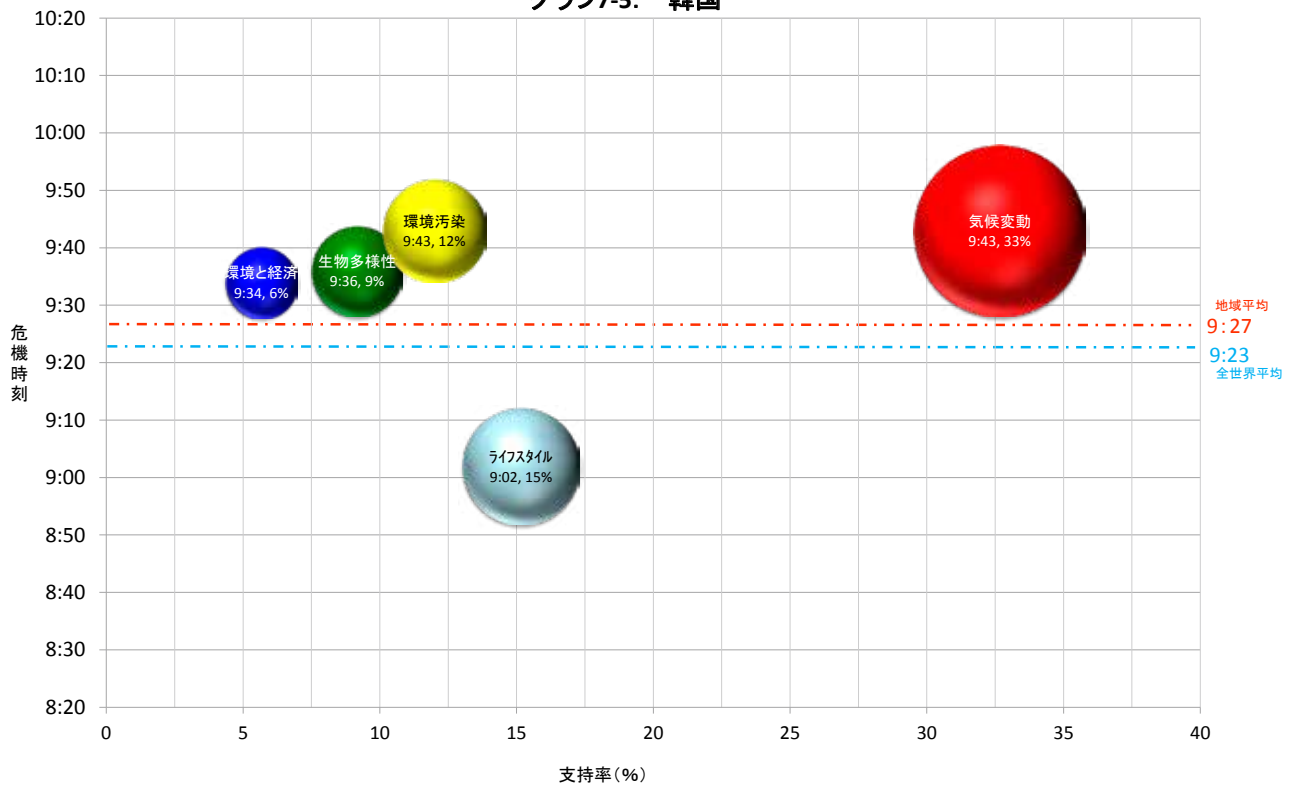
グラフ-3. 中国



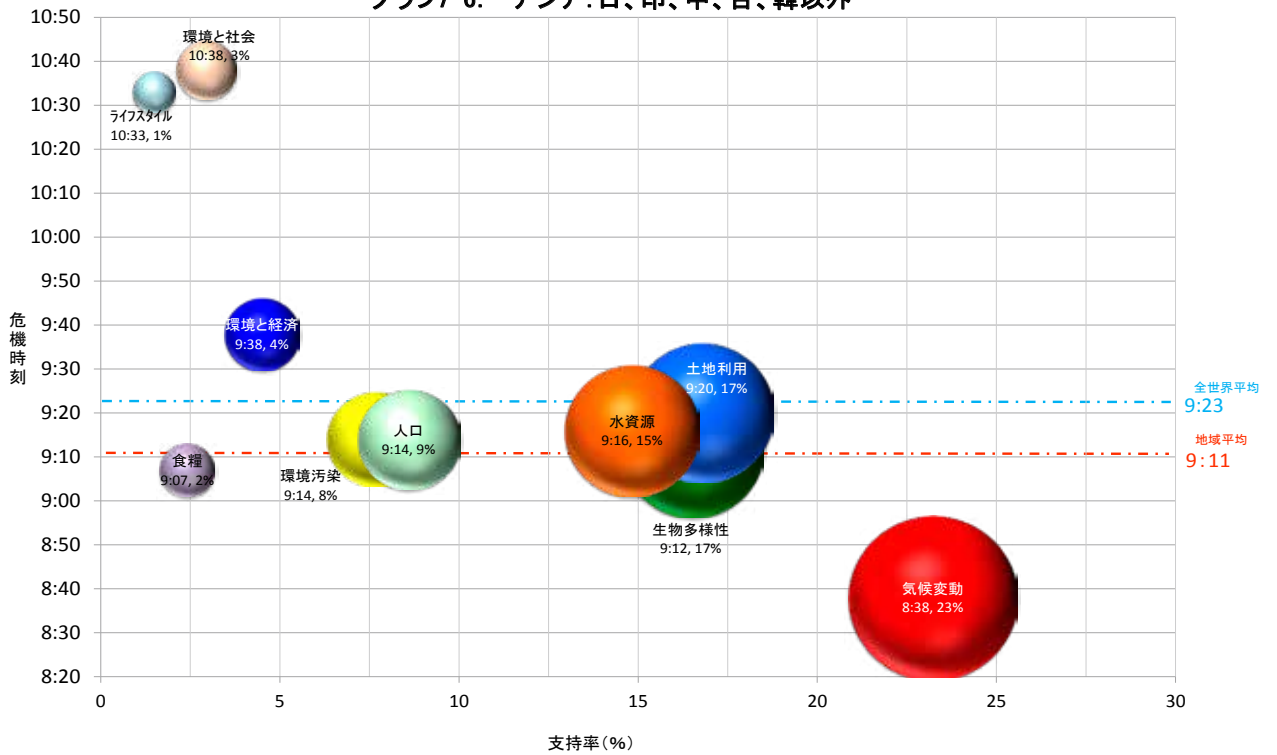
グラフ-4. 台湾



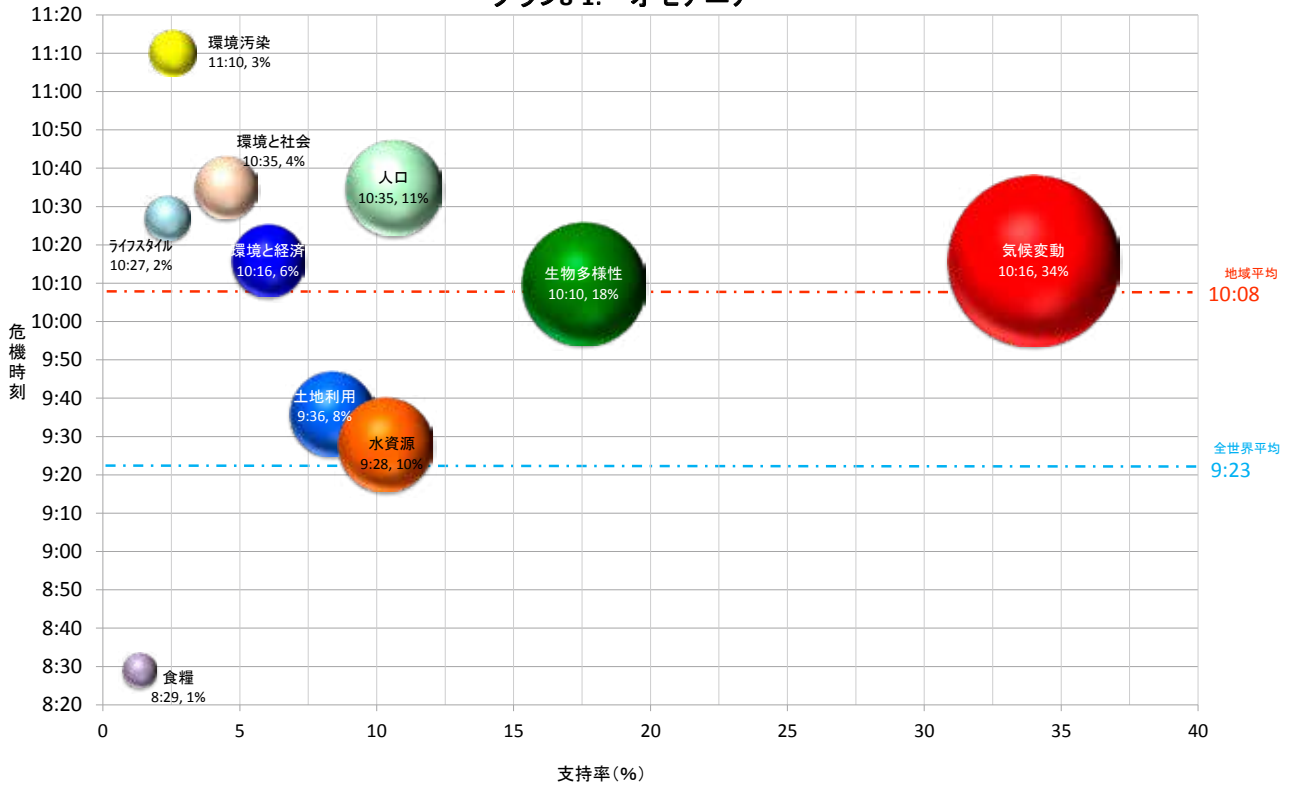
グラフ7-5. 韓国



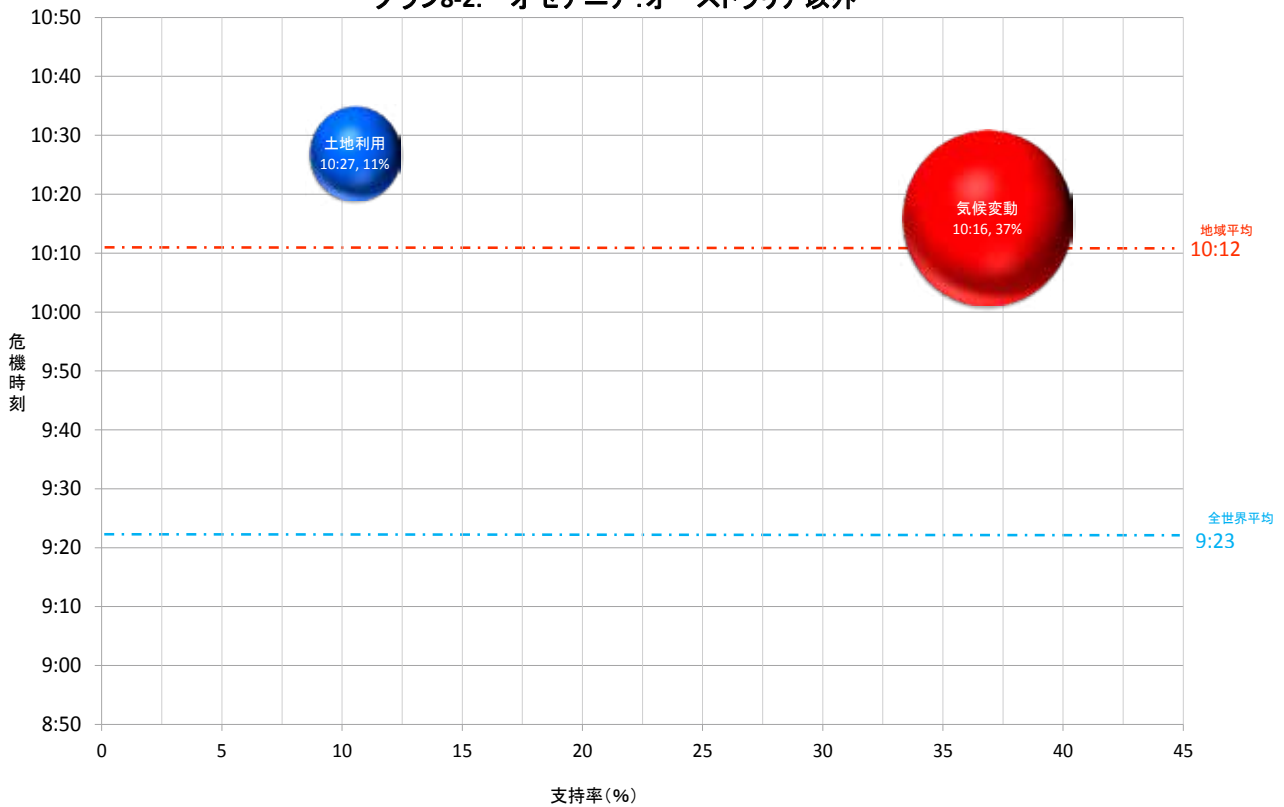
グラフ7-6. アジア:日、印、中、台、韓以外



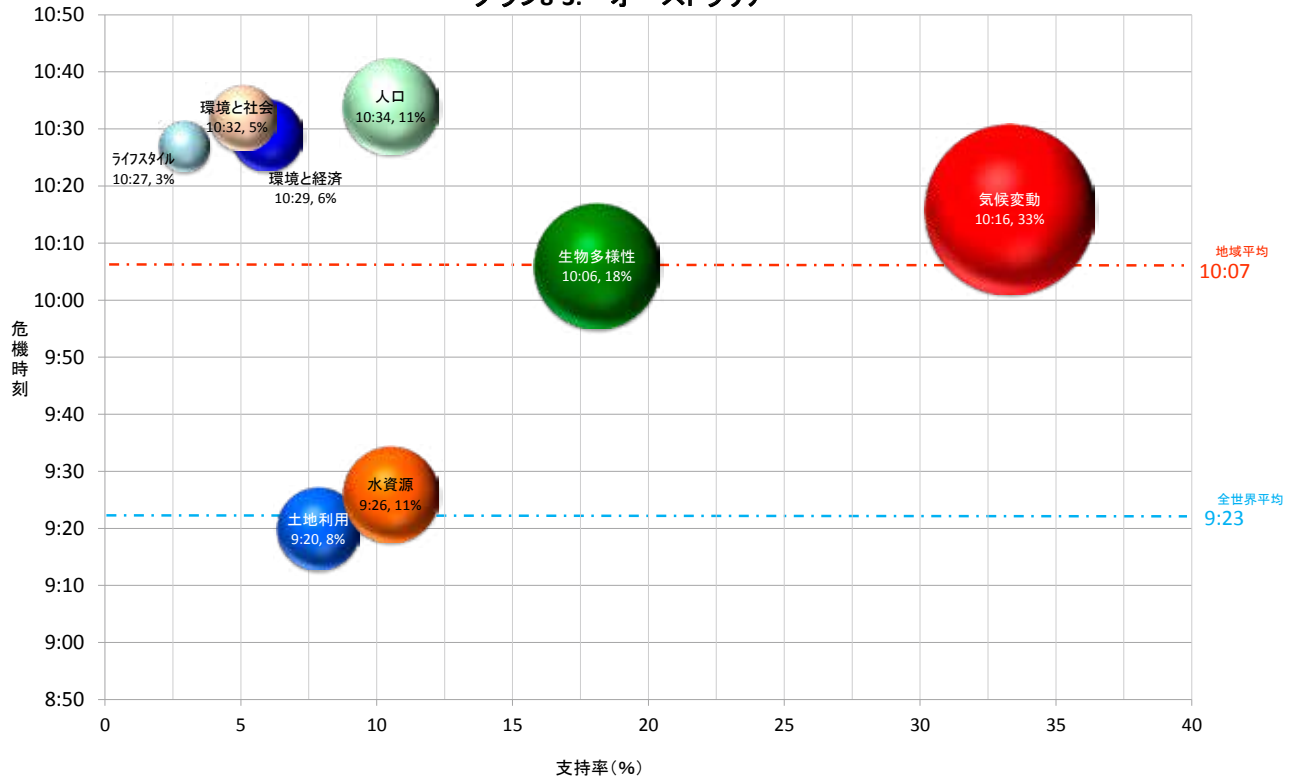
グラフ8-1. オセアニア



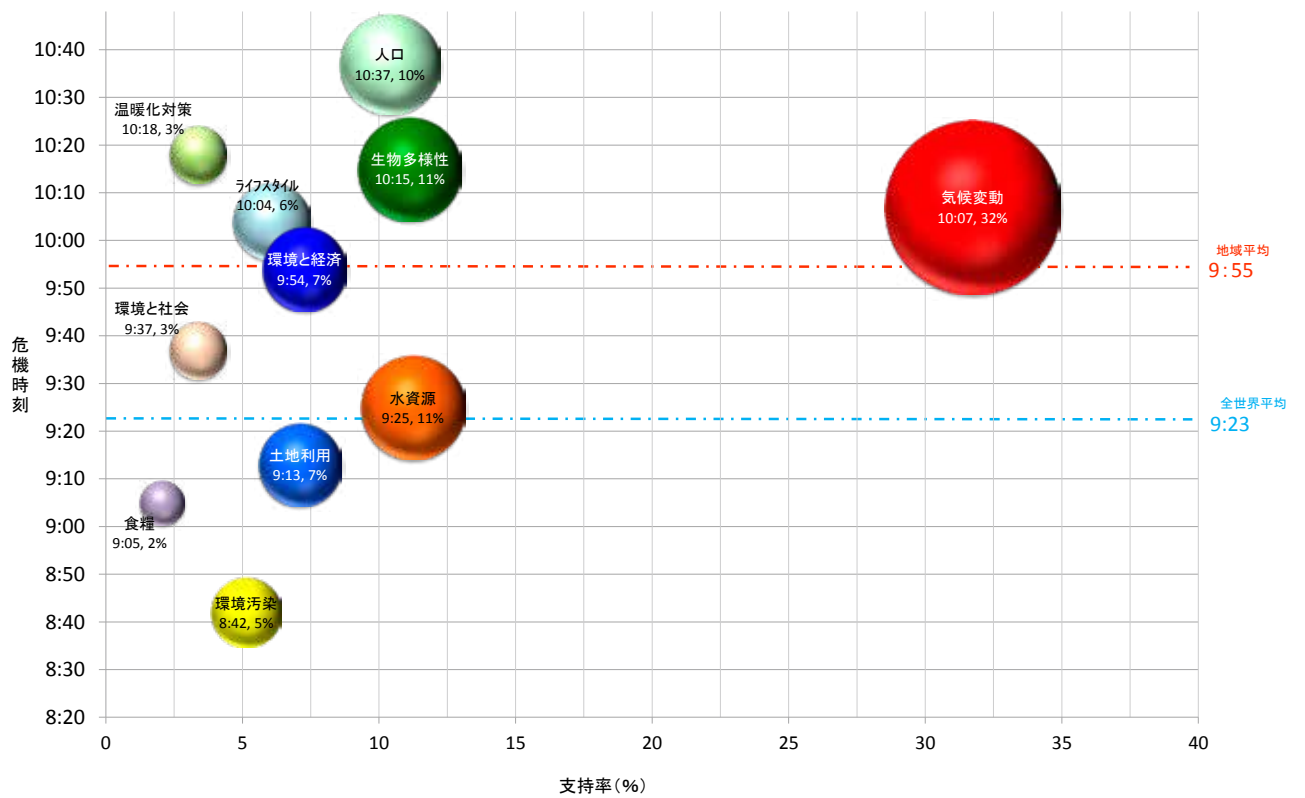
グラフ8-2. オセアニア:オーストラリア以外



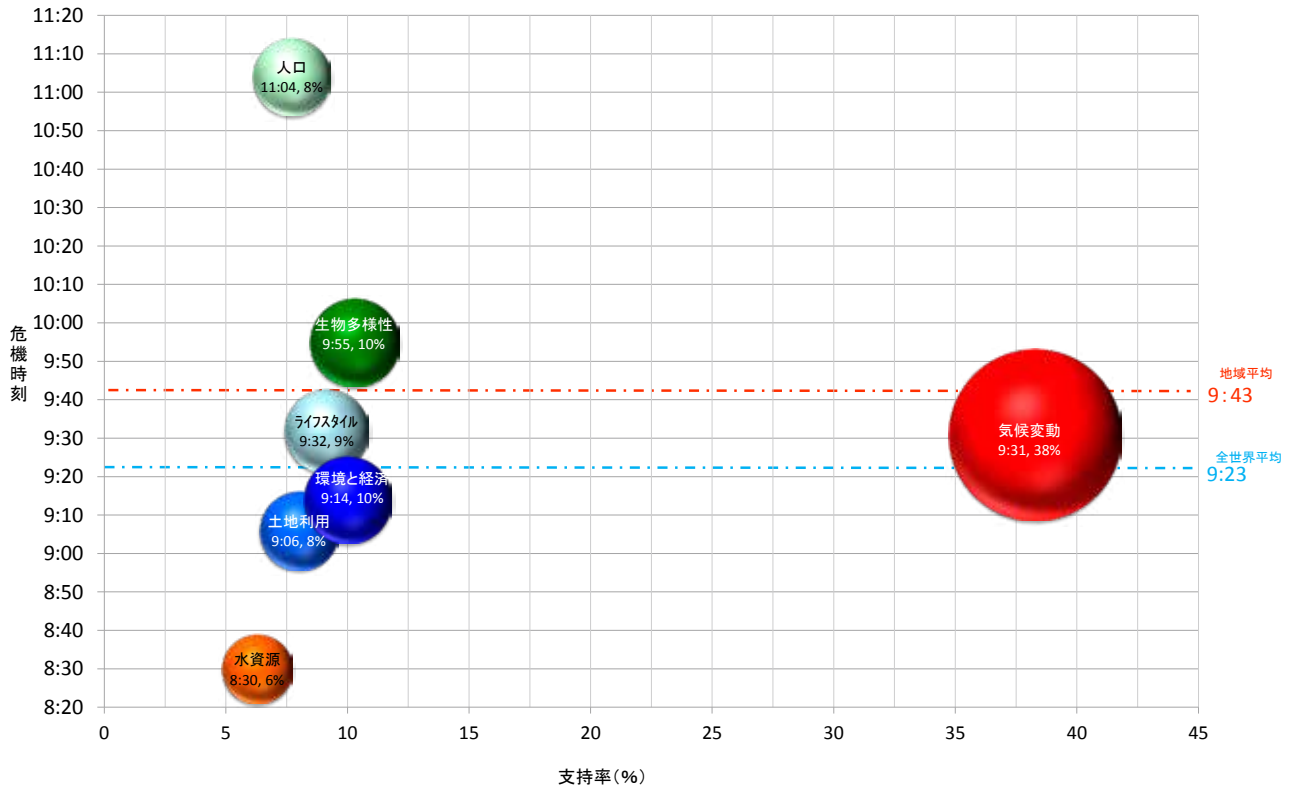
グラフ8-3. オーストラリア



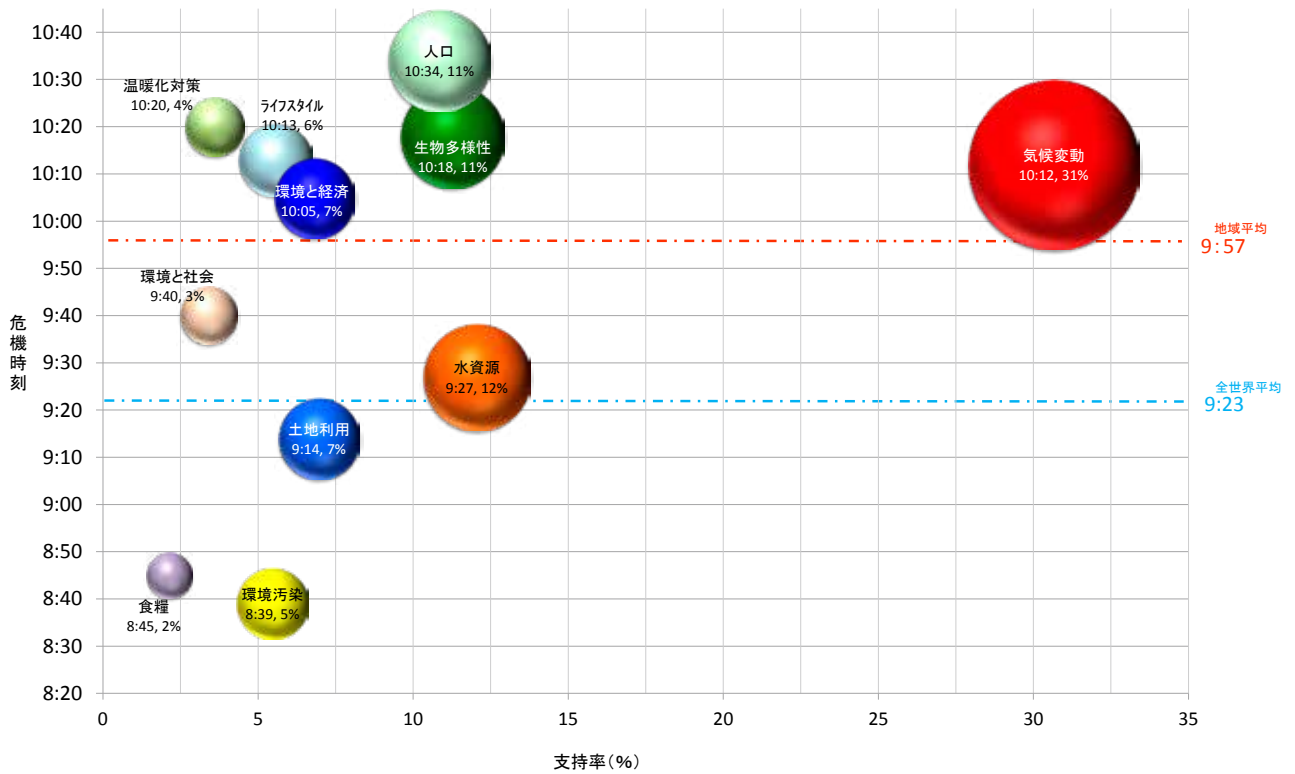
グラフ9-1. 北米



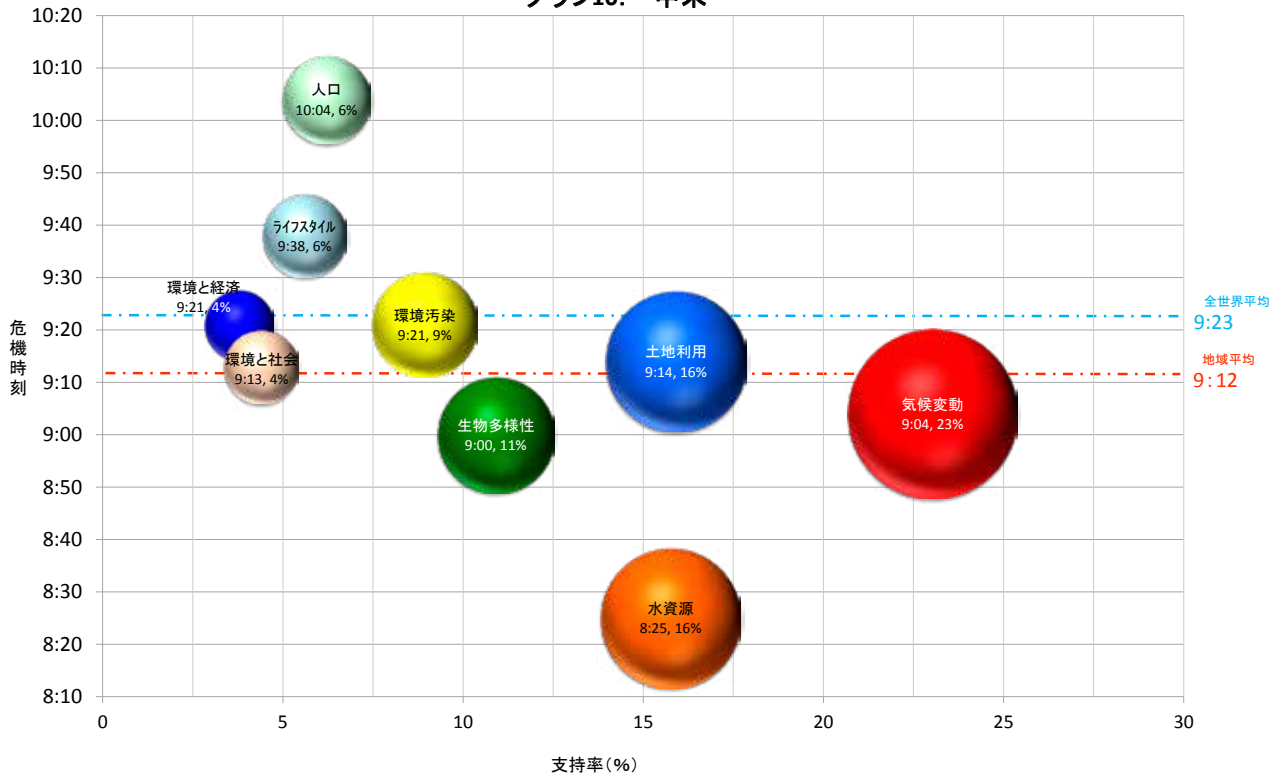
グラフ9-2. カナダ



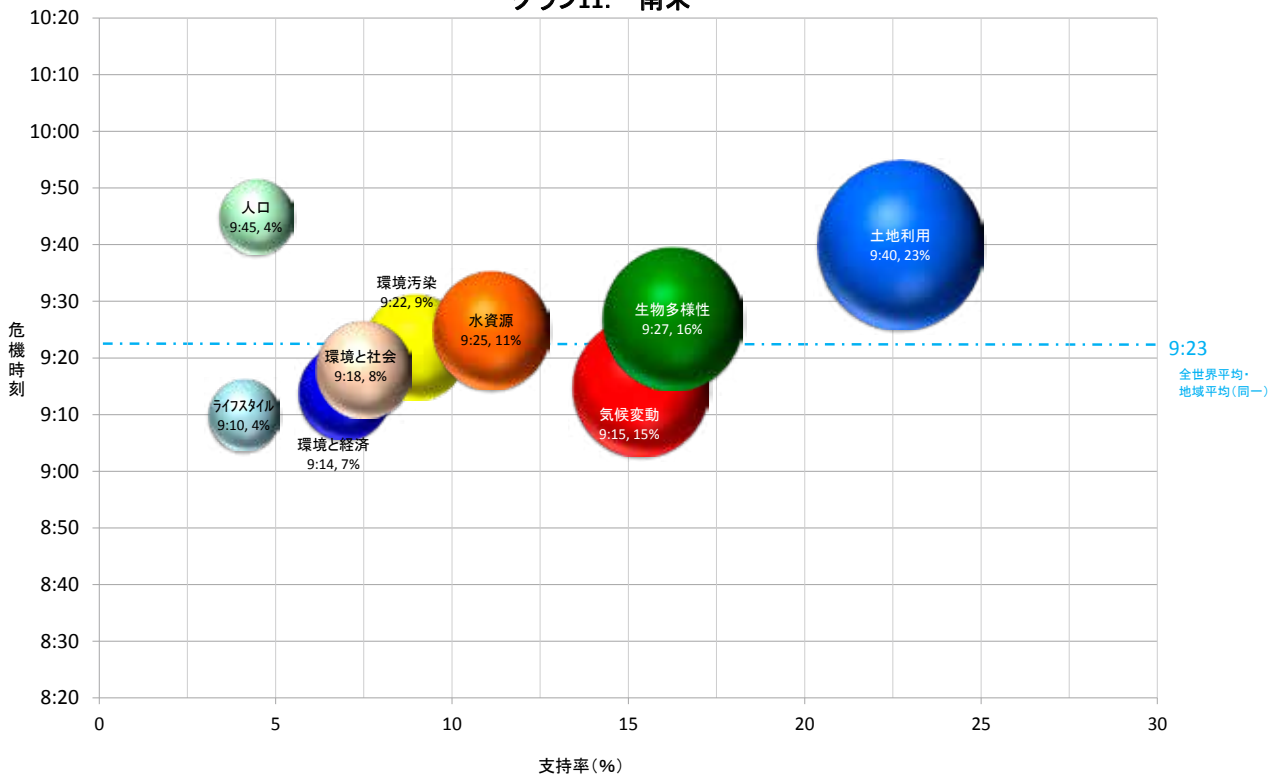
グラフ9-3. 米国



グラフ10. 中米

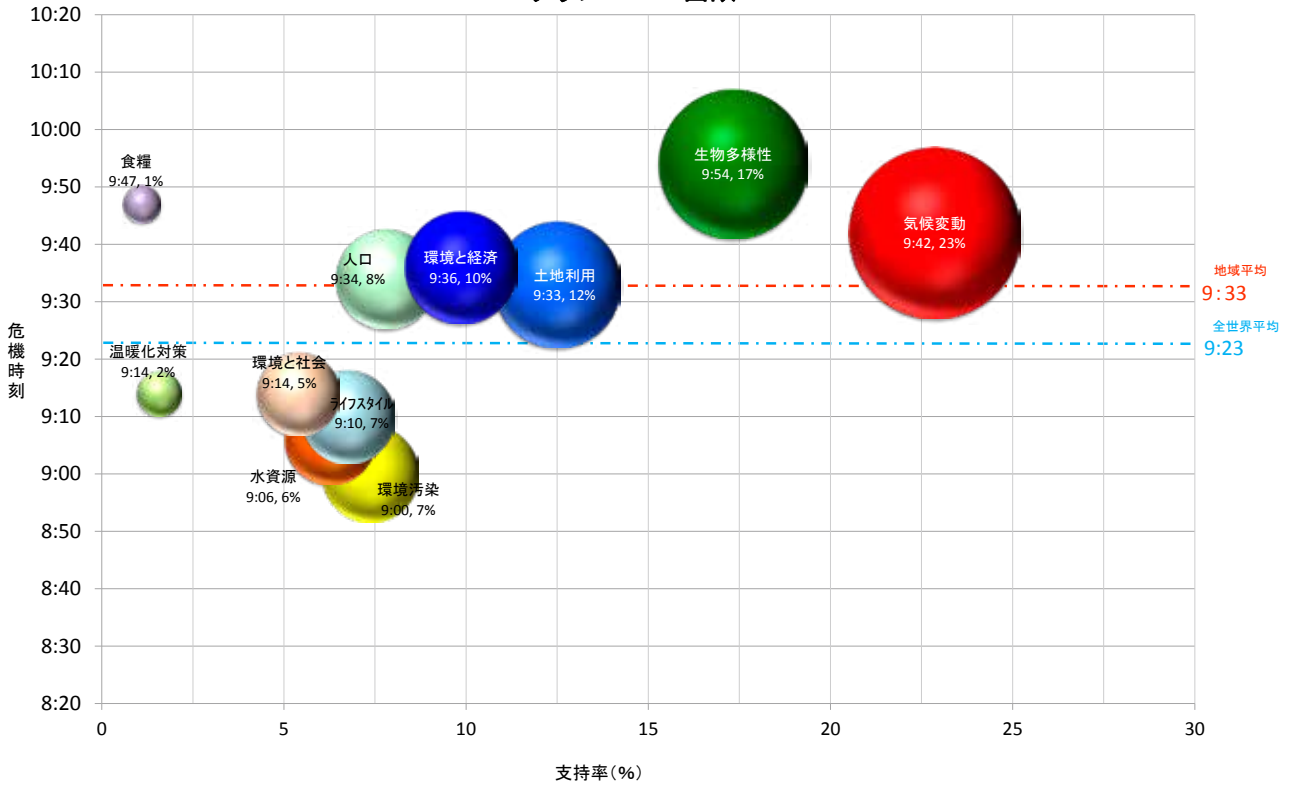


グラフ11. 南米

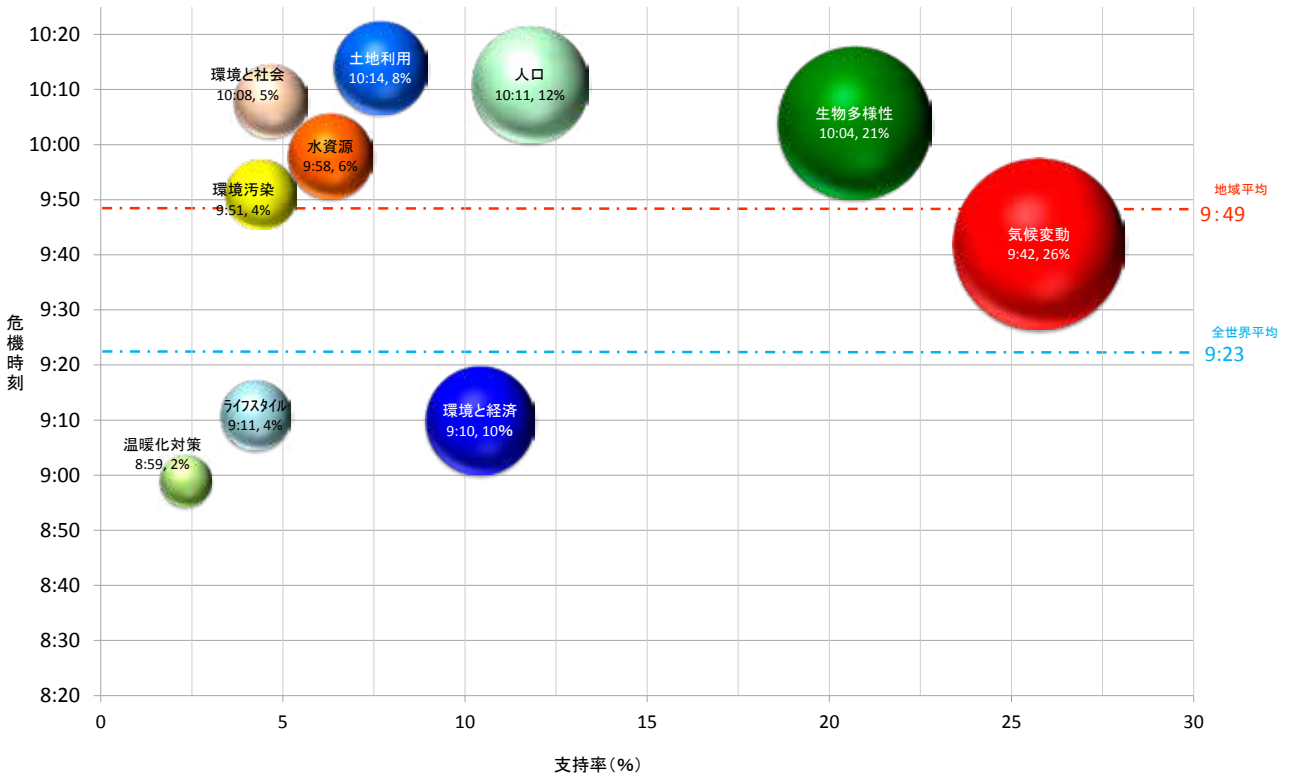




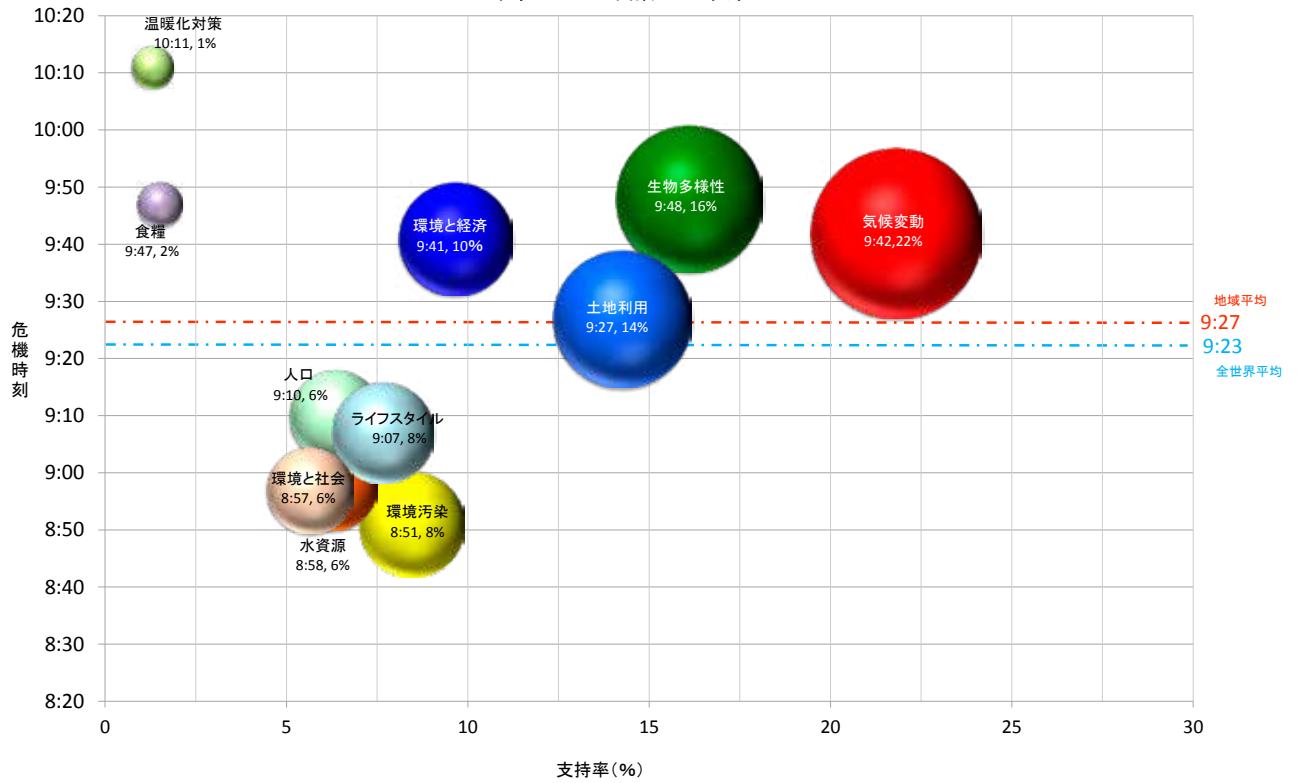
グラフ12-1. 西欧



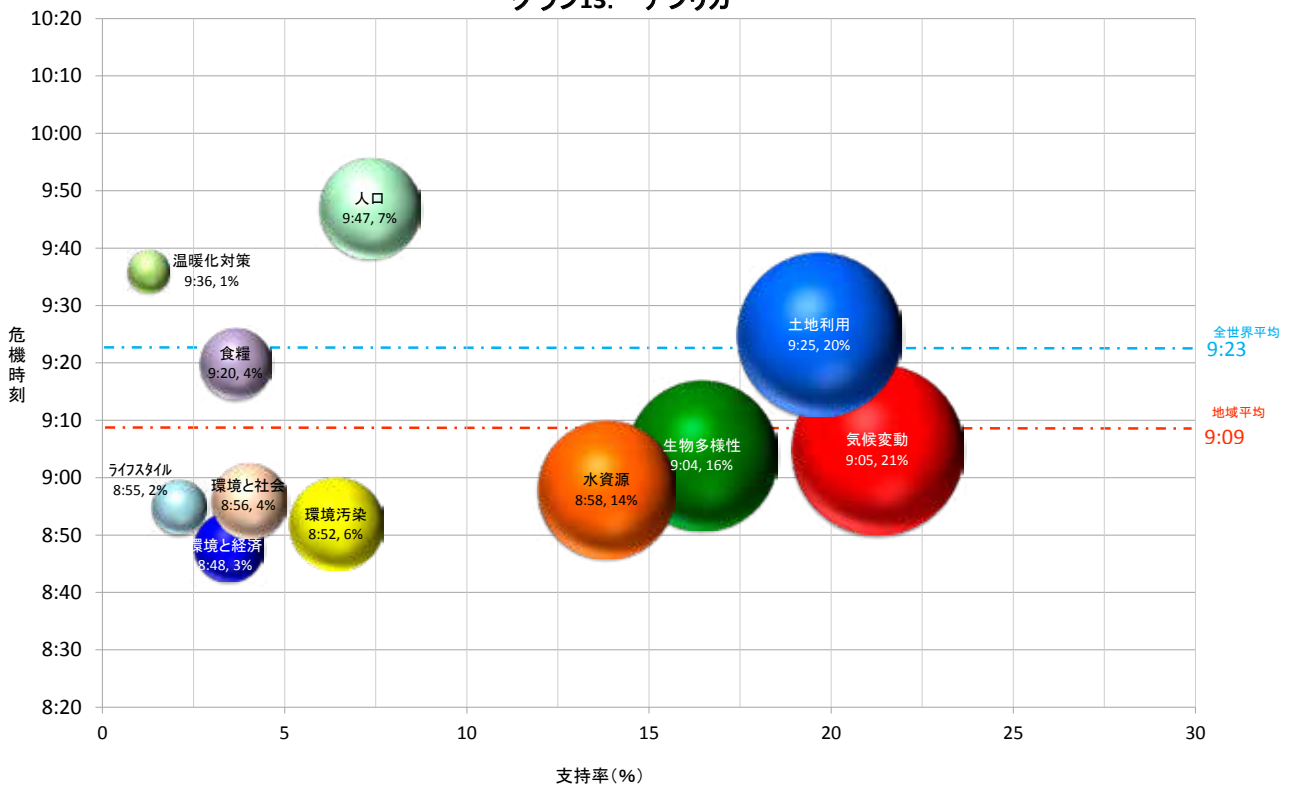
グラフ12-2. UK



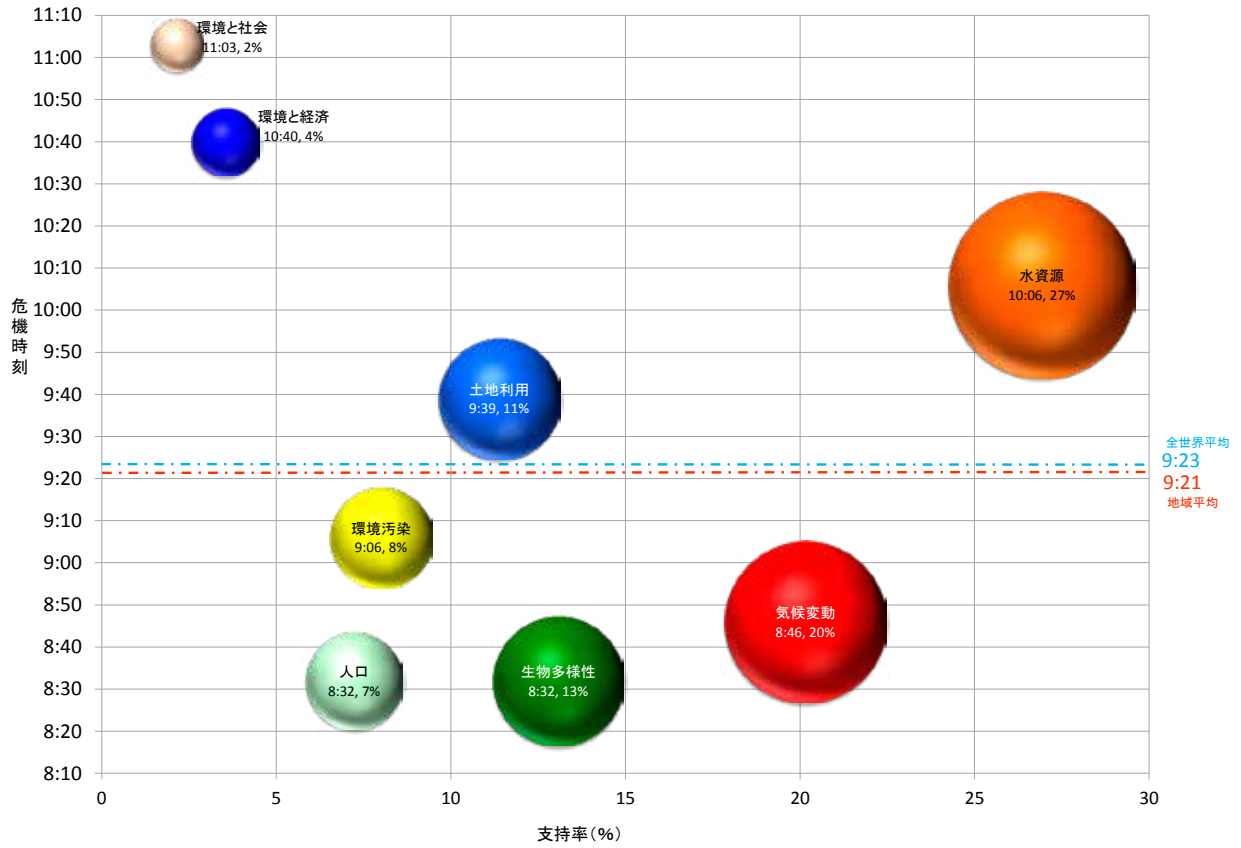
グラフ12-3. 西欧:UK以外



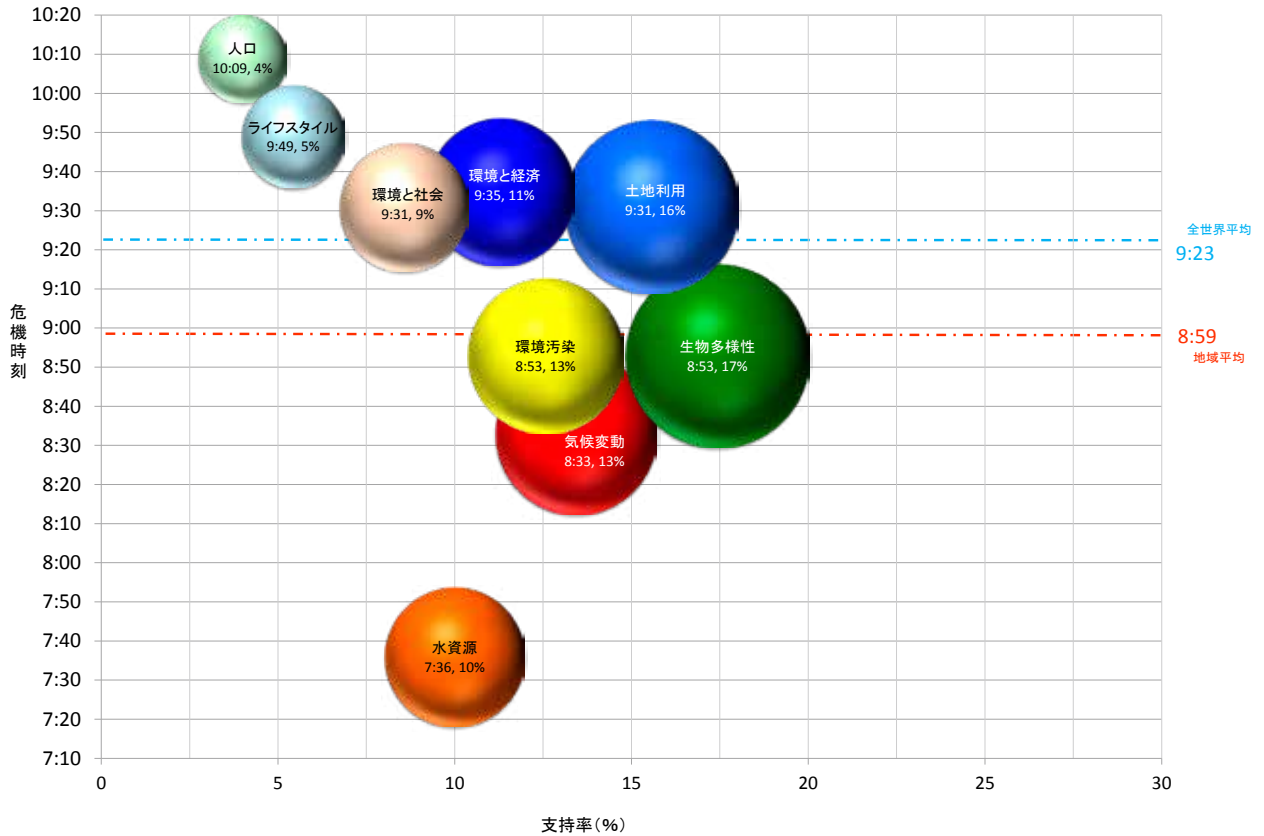
グラフ13. アフリカ



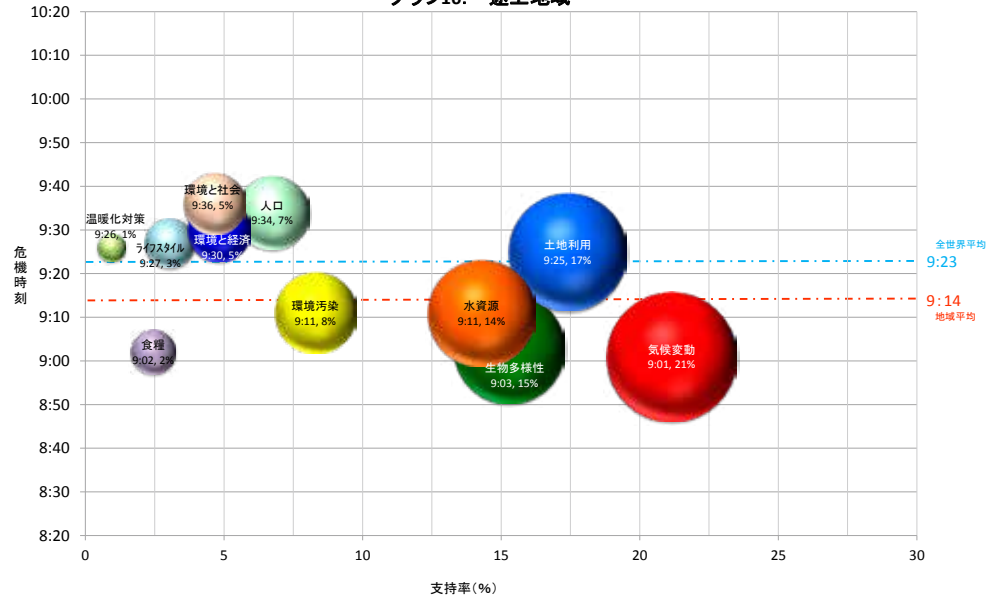
グラフ14. 中東



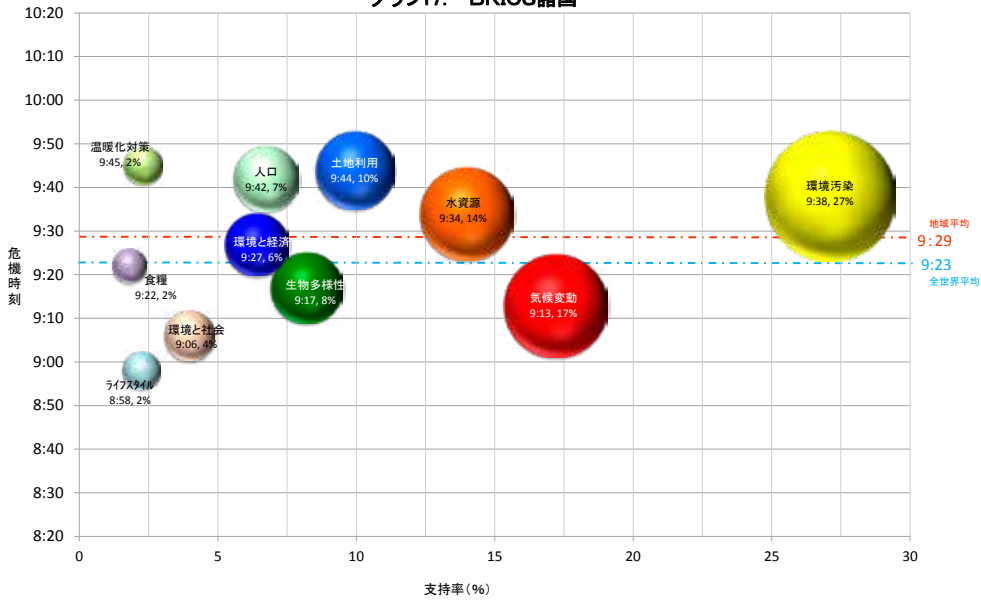
グラフ15. 東欧・旧ソ連



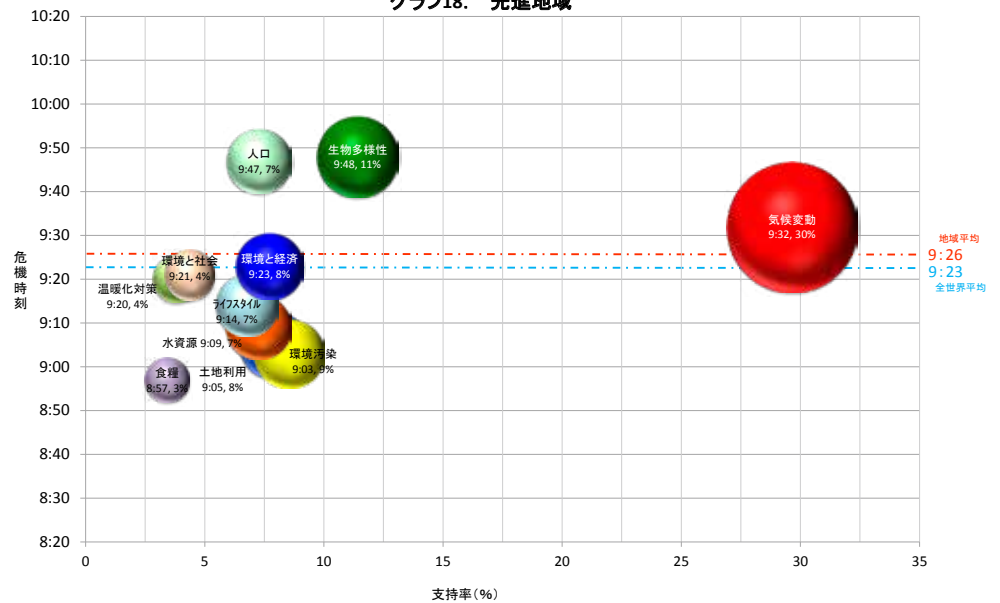
グラフ16. 途上地域



グラフ17. BRICS諸国



グラフ18. 先進地域



# Ⅳ . データブック

## 国別回収結果

地域	国名	集計
アフリカ	ALGERIA	7
	BENIN	5
	BOTSWANA	3
	BURKINA FASO	6
	BURUNDI	3
	CAMEROON	8
	CHAD	1
	COTE DIVOIRE	3
	DEMOCRATIC REPUBLIC OF THE CONGO	4
	EGYPT	3
	EQUATORIAL GUINEA	2
	ETHIOPIA	4
	GABON	1
	GAMBIA	1
	GHANA	4
	GUINEA	3
	GUINEA-BISSAU	1
	KENYA	23
	MADAGASCAR	19
	MALI	3
	MAURITANIA	3
	MAURITIUS	3
	MOROCCO	5
	MOZAMBIQUE	2
	NAMIBIA	2
	NIGER	1
	NIGERIA	16
	REPUBLIC OF THE CONGO	5
	REUNION	2
	RWANDA	3
	SENEGAL	4
	SEYCHELLES	1
	SIERRA LEONE	1
	SOUTH AFRICA	25
SUDAN	2	
SWAZILAND	1	
TANZANIA	6	
TOGO	2	
TUNISIA	8	
UGANDA	11	
ZAMBIA	4	
ZIMBABWE	4	
<b>アフリカ 集計</b>	<b>215</b>	
アジア	AFGHANISTAN	2
	BANGLADESH	9
	BHUTAN	5
	BRUNEI	1
	CAMBODIA	4
	CHINA	332
	HONG KONG	6
	INDIA	90
	INDONESIA	14
	JAPAN	460
	KOREA	60
	LAOS	1
	MALAYSIA	12
	MALDIVES	1
	MYANMAR	1
	NEPAL	17
	PAKISTAN	14
	PHILIPPINES	17
	SINGAPORE	5
	SRI LANKA	12
TAIWAN	64	
THAILAND	12	
VIETNAM	17	
<b>アジア 集計</b>	<b>1156</b>	

地域	国名	集計	
オセアニア	AUSTRALIA	79	
	COOK ISLANDS	1	
	FIJI	4	
	MICRONESIA	2	
	NEW ZEALAND	9	
	PAPUA NEW GUINEA	1	
	SAMOA	2	
	<b>オセアニア 集計</b>	<b>98</b>	
	西欧	AUSTRIA	5
		BELGIUM	4
DENMARK		5	
FINLAND		5	
FRANCE		27	
GERMANY		27	
GIBRALTAR		1	
GREECE		9	
ICELAND		2	
IRELAND		4	
ITALY		31	
MALTA		2	
NORWAY		5	
PORTUGAL		8	
SPAIN		26	
SWEDEN		4	
SWITZERLAND		25	
THE NETHERLANDS		14	
UK		73	
<b>西欧 集計</b>	<b>277</b>		
東欧・旧ソ連	ALBANIA	1	
	ARMENIA	4	
	BULGARIA	4	
	CROATIA	4	
	CZECH	2	
	ESTONIA	3	
	GEORGIA	2	
	HUNGARY	8	
	KAZAKHSTAN	2	
	LITHUANIA	2	
	MACEDONIA	1	
	MONTENEGRO	2	
	POLAND	5	
	ROMANIA	3	
RUSSIA	14		
SERBIA	3		
SLOVAKIA	2		
SLOVENIA	4		
UKRAINE	5		
<b>東欧・旧ソ連 集計</b>	<b>71</b>		
中東	BAHRAIN	2	
	CYPRUS	3	
	IRAN	14	
	IRAQ	2	
	ISRAEL	5	
	JORDAN	12	
	KUWAIT	2	
	LEBANON	2	
	OMAN	2	
	PALESTINE	1	
	SAUDI ARABIA	2	
	SYRIA	1	
	TURKEY	10	
	UNITED ARAB EMIRATES	5	
YEMEN	1		
<b>中東 集計</b>	<b>64</b>		

地域	国名	集計
北米	CANADA	35
	USA	215
<b>北米 集計</b>	<b>250</b>	
中米	BELIZE	2
	COSTA RICA	11
	CUBA	3
	DOMINICAN REPUBLIC	3
	EL SALVADOR	1
	GUADELOUPE	1
	GUATEMALA	8
	JAMAICA	5
	MARTINIQUE	1
	MEXICO	21
	NICARAGUA	1
	PANAMA	4
	PUERTO RICO	1
SINT EUSTATIUS	1	
TRINIDAD AND TOBAGO	3	
TURKS AND CAICOS ISLANDS, W.I.	2	
<b>中米 集計</b>	<b>68</b>	
南米	ARGENTINA	24
	BOLIVIA	7
	BRAZIL	39
	CHILE	9
	COLOMBIA	25
	ECUADOR	11
	FRENCH GUIANA	1
	GUYANA	1
	PARAGUAY	4
	PERU	13
URUGUAY	5	
VENEZUELA	5	
<b>南米 集計</b>	<b>144</b>	
<b>総計</b>	<b>2343</b>	

問1 人類存続の危機に対する認識—環境危機時計

1-1 表1は地球環境の変化を示す項目です。地球全体の問題を念頭に置きながら、あなたがお住まいの国または地域における環境問題を考える上で重要な3つを選んで1位～3位の順位付けをし、それぞれ時計の針に例えて0:01～12:00の範囲で〇〇時〇〇分を答えてください。時刻は便宜上、10分単位でご記入ください。その他の項目をご提案される場合には、「12. その他」の欄にご記入ください。

1位項目

単位:%

	全体	アジア(全)						オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK			西欧(UK以外)							
	[2343]	[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
1. 気候変動	35	37	52	23	17	42	48	33	56	63	54	48	63	45	29	19	31	36	30	29	31	19
2. 生物多様性	10	6	4	15	2	6	8	15	12	0	15	10	6	10	13	18	16	22	14	16	11	19
3. 土地利用	10	6	4	10	2	14	0	18	5	11	4	5	6	5	19	27	12	4	14	20	6	14
4. 環境汚染	14	23	9	8	56	29	8	5	1	5	0	2	0	2	4	9	6	3	7	3	3	9
5. 水資源	8	5	2	11	7	0	0	13	5	0	6	8	3	9	13	7	5	3	5	13	32	9
6. 人口	7	7	5	19	5	0	0	11	9	16	8	11	9	11	6	3	9	15	6	10	9	4
7. 食糧	1	2	3	3	1	0	0	1	1	5	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0
8. ライフスタイル	3	3	5	0	1	0	18	1	1	0	1	2	6	2	3	2	6	3	7	1	0	7
9. 温暖化対策	2	2	3	1	2	3	0	0	0	0	0	3	0	4	0	0	1	3	0	0	0	1
10. 環境と経済	5	5	5	2	6	3	5	3	6	0	8	6	9	5	1	6	10	8	10	2	5	10
11. 環境と社会	3	2	2	7	2	0	5	1	2	0	3	2	0	3	6	7	2	1	2	2	2	9
12. その他	1	2	3	1	0	2	7	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	3	1	1	2	0
無回答	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0
有効回答者ベース	[2328]	[1152]	[458]	[91]	[332]	[64]	[58]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[65]	[143]	[273]	[73]	[200]	[213]	[64]	[70]
1位時間	9:53	9:43	9:34	9:38	10:01	9:19	9:44	9:45	10:38	10:37	10:38	10:25	10:10	10:27	9:43	10:03	10:04	10:12	10:01	9:36	9:54	9:24

- 気候変動……大気中CO2濃度や海洋酸性度の増加 旱魃、大雨・洪水、暴風雨、大雪、異常低温・高温、河川・湖沼干上がり、砂漠化などの悪化(増加、頻発化、巨大化)
- 生物多様性……絶滅する生物種(見かけなくなった生物)の増加
- 土地利用……耕作地面積の増大 乱開発による森林破壊の拡大。過放牧による砂漠化や環境に配慮しない農業ないし土地利用の拡大
- 環境汚染……過剰な窒素やリン分による富栄養化や化学物質などによる河川・海洋・土壌汚染の増加。浮遊物質や煤、化学物質による大気汚染の増加
- 水資源……枯渇や汚染による利用可能な淡水の減少
- 人口……地域や国全体の人口増加。国全体の人口増加とは無関係な都市人口の増加
- 食糧……陸や海の食糧資源の減少
- ライフスタイル……エネルギー・資源多消費型スタイルからの転換
- 温暖化対策……緩和策・適応策の進捗
- 環境と経済……環境コストの経済システムへの取組(化石燃料への課税など)やTEEB(生態系と生物多様性の経済学)の適用などの進捗  
グリーンエコノミーの実現、持続可能な経済発展など、環境配慮型経済運営の進捗
- 環境と社会……環境問題に対する認識や環境教育の進展。貧困問題の解決の改善

2位項目

単位:%

	全体	アジア(全)						オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK			西欧(UK以外)							
	[2343]	[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
1. 気候変動	14	15	12	12	20	22	18	13	12	11	13	18	17	18	12	8	15	19	14	14	11	10
2. 生物多様性	15	12	14	19	5	5	13	23	27	37	24	12	11	13	10	15	23	23	23	19	15	19
3. 土地利用	12	9	5	13	9	11	10	15	11	11	11	7	6	7	15	21	14	10	16	20	12	13
4. 環境汚染	12	16	12	14	24	20	18	9	4	5	4	8	9	8	15	8	8	5	9	10	12	14
5. 水資源	15	14	9	19	20	14	7	19	12	11	13	15	9	16	22	21	7	5	8	16	28	14
6. 人口	6	5	7	8	2	3	3	5	11	0	14	10	6	10	7	6	5	7	5	5	8	4
7. 食糧	4	6	8	2	3	5	10	5	2	5	1	2	3	2	3	1	1	0	2	4	2	0
8. ライフスタイル	6	5	9	4	2	0	10	2	2	0	3	9	11	9	4	7	7	7	7	2	6	1
9. 温暖化対策	4	6	11	1	3	9	3	1	5	0	6	5	3	5	1	1	1	1	1	2	2	0
10. 環境と経済	7	7	8	5	7	5	5	6	7	21	4	9	17	8	3	6	9	14	8	3	3	14
11. 環境と社会	4	3	4	2	4	6	0	3	6	0	8	3	9	2	1	6	6	7	5	4	2	9
12. その他	1	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	0	1
無回答	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0
有効回答者ベース	[2326]	[1151]	[457]	[91]	[332]	[64]	[58]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[64]	[143]	[273]	[73]	[200]	[213]	[64]	[70]
2位時間	9:09	9:02	8:52	8:47	9:27	8:27	9:31	8:52	9:52	9:52	9:51	9:40	9:37	9:41	8:55	9:00	9:16	9:43	9:07	8:53	9:07	8:53

### 問1 人類存続の危機に対する認識－環境危機時計

表1は地球環境の変化を示す項目です。地球全体の問題を念頭に置きながら、あなたがお住まいの国または地域における環境問題を考える上で重要な3つを選んで1位～3位の順位付けをし、それぞれ時計の針に例えて0:01～12:00の範囲で〇〇時〇〇分を教えてください。時刻は便宜上、10分単位でご記入ください。その他の項目をご提案される場合には、「12. その他」の欄にご記入ください。

#### 3位項目

単位：%

	全体	アジア(全)							オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
	[2343]	日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK	西欧(UK以外)									
	[2343]	[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
1. 気候変動	13	13	10	15	15	14	15	15	11	11	11	12	9	13	21	17	12	11	13	12	8	6
2. 生物多様性	10	8	8	11	7	3	5	11	17	21	16	13	20	12	4	13	12	14	11	14	15	13
3. 土地利用	13	12	8	14	16	14	8	15	12	11	13	12	17	11	7	15	12	14	11	19	23	23
4. 環境汚染	9	9	8	8	8	8	12	13	4	0	5	8	3	9	10	10	9	7	10	10	14	20
5. 水資源	12	14	9	18	20	12	10	14	20	32	18	13	11	13	10	7	8	16	5	11	12	7
6. 人口	7	7	6	9	8	9	5	7	13	16	13	10	9	11	4	7	9	11	8	3	2	3
7. 食糧	5	6	10	3	3	3	7	3	1	0	1	4	3	4	9	1	1	0	2	8	9	3
8. ライフスタイル	7	7	10	5	4	9	15	3	6	0	8	10	14	10	13	5	8	4	9	5	6	7
9. 温暖化対策	3	4	5	2	5	2	2	3	1	0	1	2	6	1	1	2	3	3	3	2	2	0
10. 環境と経済	9	10	13	7	7	17	8	7	4	0	5	8	3	9	10	10	10	11	10	7	2	10
11. 環境と社会	9	8	10	8	7	8	13	7	8	11	8	6	3	7	4	12	13	10	15	8	5	9
12. その他	1	1	3	0	0	0	0	1	1	0	1	2	3	2	1	2	1	0	2	0	3	0
無回答	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0
有効回答者ベース	[2326]	[1151]	[457]	[91]	[332]	[64]	[58]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[64]	[143]	[273]	[73]	[200]	[213]	[64]	[70]
3位時間	8:31	8:23	8:08	8:07	8:58	7:33	8:38	8:13	9:19	9:36	9:14	9:04	8:44	9:07	8:19	8:20	8:38	9:00	8:30	8:25	8:19	8:06

問1-2 1-1で選択した3つの項目それぞれについて、表2から選択した理由に近い番号を選んでご記入ください。  
 複数の場合はカンマで区切って下さい。その他(番号6)の場合には、理由をご記入下さい。

選択した理由 第1位

単位:%

	全体 [2343]	1. 気 候変 動 [829]	2. 生 物多 様性 [239]	3. 土 地利 用 [225]	4. 環 境汚 染 [318]	5. 水 資源 [177]	6. 人 口 [175]	7. 食 糧 [30]	8. ラ イフ ス タイル [76]	9. 温 暖化 対策 [38]	10. 環 境と 経済 [127]	11. 環 境と 社会 [66]	12. そ の他 [35]
1. 観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	46	56	48	41	56	45	29	23	18	24	25	20	23
2. 悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	49	45	63	50	75	64	25	47	14	26	30	30	34
3. 影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	43	49	31	35	64	41	29	53	21	55	35	17	46
4. 多くの環境問題に共通する根本的な原因である	55	52	37	56	64	54	67	43	68	63	58	74	37
5. 環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	30	19	10	34	43	16	50	20	57	39	56	59	29
6. その他(回答欄にご記入ください)	5	4	7	4	2	7	7	7	9	3	5	6	9
無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9

選択した理由 第2位

単位:%

	全体 [2343]	1. 気 候変 動 [338]	2. 生 物多 様性 [356]	3. 土 地利 用 [270]	4. 環 境汚 染 [292]	5. 水 資源 [341]	6. 人 口 [141]	7. 食 糧 [91]	8. ラ イフ ス タイル [131]	9. 温 暖化 対策 [99]	10. 環 境と 経済 [164]	11. 環 境と 社会 [94]	12. そ の他 [17]
1. 観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	40	51	51	43	49	45	26	30	21	23	24	24	18
2. 悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	47	46	60	56	58	55	31	32	25	34	30	27	47
3. 影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	41	46	35	44	48	48	30	52	27	40	35	29	41
4. 多くの環境問題に共通する根本的な原因である	49	50	32	47	48	54	61	33	61	44	64	63	53
5. 環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	26	21	6	25	26	20	41	11	44	32	52	54	29
6. その他(回答欄にご記入ください)	4	4	5	3	2	2	4	10	7	5	5	12	35
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0

選択した理由 第3位

単位:%

	全体 [2343]	1. 気 候変 動 [296]	2. 生 物多 様性 [246]	3. 土 地利 用 [311]	4. 環 境汚 染 [221]	5. 水 資源 [289]	6. 人 口 [170]	7. 食 糧 [116]	8. ラ イフ ス タイル [170]	9. 温 暖化 対策 [71]	10. 環 境と 経済 [211]	11. 環 境と 社会 [203]	12. そ の他 [30]
1. 観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	39	49	53	49	48	48	36	28	21	35	17	20	37
2. 悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	40	36	59	53	50	60	33	28	22	45	19	19	30
3. 影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	39	43	37	44	42	53	36	50	23	41	31	26	30
4. 多くの環境問題に共通する根本的な原因である	49	44	39	50	41	44	62	28	62	48	63	56	33
5. 環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	28	15	12	29	19	20	29	19	47	32	49	48	23
6. その他(回答欄にご記入ください)	5	4	5	3	5	4	6	6	5	4	6	5	30
無回答	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0



問1-2 1-1で選択した3つの項目それぞれについて、表2から選択した理由に近い番号を選んでご記入ください。  
 複数の場合はカンマで区切って下さい。その他(番号6)の場合には、理由をご記入下さい。

単位:%

選択した理由 第1位	全体	アジア(全)						オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
	[2343]	日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK			西欧(UK以外)							
1. 観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	46	48	40	49	61	29	37	54	43	32	46	39	43	39	35	43	39	41	39	51	55	43
2. 悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	49	53	37	49	81	49	32	52	46	42	47	43	40	43	35	41	43	42	43	51	54	44
3. 影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	43	54	48	34	80	43	33	42	32	32	32	37	37	37	40	33	29	29	29	33	32	23
4. 多くの環境問題に共通する根本的な原因である	55	55	44	49	76	37	58	55	53	58	52	65	71	64	56	39	54	59	52	54	51	61
5. 環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	30	31	13	35	55	37	18	34	24	32	23	26	37	24	19	24	31	34	30	30	35	37
6. その他(回答欄にご記入ください)	5	4	4	10	1	3	2	7	9	5	10	8	6	8	7	4	7	8	7	5	8	1
無回答	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

単位:%

選択した理由 第2位	全体	アジア(全)						オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
	[2343]	日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK			西欧(UK以外)							
1. 観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	40	43	26	42	67	40	38	48	34	26	35	38	43	37	32	31	33	40	31	45	57	40
2. 悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	47	50	31	45	79	32	43	56	47	37	49	44	31	46	49	40	41	38	42	50	51	39
3. 影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	41	48	34	40	80	32	28	41	33	32	33	32	37	31	40	30	33	34	33	38	48	33
4. 多くの環境問題に共通する根本的な原因である	49	48	39	49	70	28	22	45	46	53	44	59	63	59	46	45	49	58	46	42	54	54
5. 環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	26	30	19	34	47	42	13	21	24	21	25	21	20	21	21	14	19	16	20	28	28	29
6. その他(回答欄にご記入ください)	4	4	5	4	1	2	2	6	7	5	8	4	6	4	6	5	6	8	5	6	3	4
無回答	1	1	1	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0

単位:%

選択した理由 第3位	全体	アジア(全)						オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
	[2343]	日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK			西欧(UK以外)							
1. 観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	39	41	23	45	68	29	25	47	36	37	35	36	34	36	31	37	32	27	34	42	48	37
2. 悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	40	41	20	40	74	23	22	47	43	47	42	47	49	47	32	38	32	33	32	42	46	41
3. 影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	39	45	26	37	78	34	40	45	30	32	29	32	31	32	34	35	31	26	33	32	48	36
4. 多くの環境問題に共通する根本的な原因である	49	48	41	42	65	38	30	49	52	53	52	55	51	56	50	40	50	56	48	44	49	53
5. 環境問題の解決を遅らせている最大の要因である	28	32	22	34	48	32	25	24	19	16	20	23	20	23	24	24	22	21	23	23	32	30
6. その他(回答欄にご記入ください)	5	5	7	5	2	3	2	6	7	11	6	4	6	3	9	4	6	5	6	4	6	6
無回答	1	1	1	0	0	2	2	1	2	0	3	0	3	0	1	0	1	0	1	1	0	0

問1-3 1-1で選択した3つの項目それぞれにの現在の状況について、以下の1～3から選んでその番号をご記入ください。

現在の状況 第1位

単位:%

	全体 [2343]	1. 気 候変 動 [829]	2. 生 物多 様性 [239]	3. 土 地利 用 [225]	4. 環 境汚 染 [318]	5. 水 資源 [177]	6. 人 口 [175]	7. 食 糧 [30]	8. ラ イフ ス タイル [76]	9. 温 暖化 対策 [38]	10. 環 境と 経済 [127]	11. 環 境と 社会 [66]	12. そ の他 [35]
1. 3～5年前より悪化している(時計が進む方向)	82	91	85	79	81	81	79	83	54	74	65	52	91
2. 3～5年前より改善している(時計が戻る方向)	5	2	4	3	8	4	6	0	8	8	10	18	0
3. 3～5年前とあまり変わらない (時刻は大きく変わらない)	13	7	10	17	11	14	15	17	38	18	24	30	6
無回答	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3

現在の状況 第2位

単位:%

	全体 [2343]	1. 気 候変 動 [338]	2. 生 物多 様性 [356]	3. 土 地利 用 [270]	4. 環 境汚 染 [292]	5. 水 資源 [341]	6. 人 口 [141]	7. 食 糧 [91]	8. ラ イフ ス タイル [131]	9. 温 暖化 対策 [99]	10. 環 境と 経済 [164]	11. 環 境と 社会 [94]	12. そ の他 [17]
1. 3～5年前より悪化している(時計が進む方向)	74	81	80	84	71	82	74	66	60	67	56	53	71
2. 3～5年前より改善している(時計が戻る方向)	6	4	5	4	7	6	7	10	9	5	10	20	0
3. 3～5年前とあまり変わらない (時刻は大きく変わらない)	19	15	14	11	21	12	18	23	29	27	34	27	29
無回答	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0

現在の状況 第3位

単位:%

	全体 [2343]	1. 気 候変 動 [296]	2. 生 物多 様性 [246]	3. 土 地利 用 [311]	4. 環 境汚 染 [221]	5. 水 資源 [289]	6. 人 口 [170]	7. 食 糧 [116]	8. ラ イフ ス タイル [170]	9. 温 暖化 対策 [71]	10. 環 境と 経済 [211]	11. 環 境と 社会 [203]	12. そ の他 [30]
1. 3～5年前より悪化している(時計が進む方向)	66	73	79	72	70	76	70	65	52	58	52	39	70
2. 3～5年前より改善している(時計が戻る方向)	8	4	4	4	9	7	8	9	15	7	14	18	0
3. 3～5年前とあまり変わらない (時刻は大きく変わらない)	25	22	17	24	20	17	21	27	32	35	34	42	30
無回答	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0

問1-3 1-1で選択した3つの項目それぞれに現在の状況ついて、以下の1～3から選んでその番号をご記入ください。

単位：%

現在の状況 第1位

	全体	アジア(全)							オセアニア			北米		中米	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK	西欧(UK以外)									
	[2343]	[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
1. 3～5年前より悪化している(時計が進む方向)	82	81	86	76	74	89	82	83	93	95	92	85	83	86	82	84	76	86	72	85	82	73
2. 3～5年前より改善している(時計が戻る方向)	5	7	2	10	17	3	5	1	0	0	0	2	3	2	1	3	4	1	5	4	3	3
3. 3～5年前とあまり変わらない(時刻は大きく変わらない)	13	11	12	14	9	8	10	15	7	5	8	13	14	13	16	13	20	12	23	11	15	24
無回答	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位：%

現在の状況 第1位

	全体	アジア(全)							オセアニア			北米		中米	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK	西欧(UK以外)									
	[2343]	[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
1. 3～5年前より悪化している(時計が進む方向)	74	73	70	79	69	85	78	79	93	95	92	79	74	79	78	77	70	82	65	75	71	67
2. 3～5年前より改善している(時計が戻る方向)	6	7	2	9	16	5	2	8	1	0	1	3	3	3	4	6	6	3	7	9	9	7
3. 3～5年前とあまり変わらない(時刻は大きく変わらない)	19	19	27	12	15	11	17	11	6	5	6	18	23	17	18	17	24	15	28	15	20	26
無回答	1	1	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

単位：%

現在の状況 第1位

	全体	アジア(全)							オセアニア			北米		中米	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK	西欧(UK以外)									
	[2343]	[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
1. 3～5年前より悪化している(時計が進む方向)	66	64	60	69	63	71	63	68	78	79	77	73	69	73	71	69	67	75	64	70	52	53
2. 3～5年前より改善している(時計が戻る方向)	8	10	6	9	18	9	5	7	4	11	3	5	3	5	3	3	8	5	8	8	9	11
3. 3～5年前とあまり変わらない(時刻は大きく変わらない)	25	26	32	22	19	20	28	23	17	11	19	22	29	21	26	26	25	19	27	21	38	36
無回答	1	1	1	0	0	0	3	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0

対象者属性

勤務先

単位：％

	全体 [2343]	アジア(全)							オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK	西欧(UK以外)									
		[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
1.中央政府	6	4	1	9	1	23	2	8	9	11	9	10	11	10	16	8	4	3	5	12	8	3
2.地方自治体	7	11	7	4	23	12	3	3	3	5	3	2	3	2	4	3	2	0	3	3	8	0
3.大学・研究機関	39	39	55	42	24	35	15	30	40	26	43	37	37	37	31	44	43	41	43	29	43	54
4.非政府組織	26	19	9	31	17	6	45	46	24	42	20	24	26	24	41	33	28	36	25	45	31	31
5.企業	9	15	11	2	28	18	23	0	5	0	6	4	6	4	1	3	6	1	8	2	5	0
6.ジャーナリズム	2	2	3	0	0	0	7	1	1	0	1	8	6	8	1	0	1	3	0	0	0	0
7.その他	11	11	14	12	6	5	5	13	17	16	18	13	11	14	4	8	16	16	16	9	6	11
無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

性別

単位：％

	全体 [2343]	アジア(全)							オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK	西欧(UK以外)									
		[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
男性	72	71	92	90	42	60	53	74	74	74	75	73	89	71	66	76	72	62	76	76	74	63
女性	27	28	7	10	58	40	47	26	26	25	27	11	29	34	24	28	38	24	23	26	37	
無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

年代

単位：％

	全体 [2343]	アジア(全)							オセアニア			北米		中米	南米	西欧			アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オセアニア(オーストラリア以外)	オーストラリア	カナダ	米国	UK	西欧(UK以外)									
		[1157]	[460]	[91]	[332]	[65]	[60]	[149]	[98]	[19]	[79]	[249]	[35]	[214]	[68]	[144]	[276]	[73]	[203]	[215]	[65]	[70]
20代	9	15	0	5	41	26	13	5	2	0	3	4	6	3	3	3	3	4	2	5	5	3
30代	23	26	6	30	45	40	42	28	10	0	13	11	6	12	22	28	22	23	22	24	35	24
40代	22	18	15	29	10	22	23	34	19	37	15	20	23	19	35	30	25	27	25	33	37	23
50代	22	20	34	23	3	9	12	21	23	21	24	22	14	23	26	26	22	16	25	27	11	34
60代	16	14	30	4	1	2	10	9	33	32	33	30	31	30	7	10	17	16	18	10	9	9
70代以上	7	7	14	9	0	2	0	3	12	11	13	14	20	13	6	3	10	12	9	1	3	7
無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

有効回答／無回答 の定義

有効回答＝シングルアンサー、個数指定のリミテッドアンサーなどにおいて、制限内の回答数のものを有効とし、制限数オーバーの回答数のものを無効とした。  
無回答＝その設問に関して回答条件者にもかかわらず回答がなかった場合を無回答とした。

## V. 調査票

### 問1 人類存続の危機に対する認識－環境危機時計<sup>®</sup>

1-1 表1は地球環境の変化を示す項目です。地球全体の問題を念頭に置きながら、あなたがお住まいの国または地域における環境問題を考える上で重要な項目を3つ選んで1位～3位の順位付けをし、それぞれ時計の針に例えて0:10～12:00の範囲で〇〇時〇〇分と教えてください。時刻は便宜上、10分単位でご記入下さい。その他の項目をご提案される場合には、「12. その他」の欄にご記入下さい。

----- 回答例 -----

項目番号	時刻				項目番号	時刻
1位 ( 1 )	9 時 30 分			1位 ( )	時 分	
2位 ( 5 )	7 時 40 分				2位 ( )	時 分
3位 ( 3 )	8 時 20 分				3位 ( )	時 分

----- 回答欄 -----

#### 危機時刻の決定法について

1位から3位の時刻の加重平均(1位:50%、2位:30%、3位:20%)として環境危機時計<sup>®</sup>の時刻を決定します。回答例の場合、8時43分となります。

表1 地球環境の変化を示す項目

項目	あなたがお住まいの地域で観察されること(例)
1. 気候変動	大気中CO <sub>2</sub> 濃度や海洋酸性度の増加 早魃、大雨・洪水、暴風雨、大雪、異常低温・高温、河川・湖沼の干上がり、砂漠化などの悪化(増加、頻発化、巨大化)
2. 生物多様性	絶滅する生物種(見かけなくなった生物)の増加
3. 土地利用	耕作地面積の増大 乱開発による森林破壊の拡大 過放牧による砂漠化や環境に配慮しない農業ないし土地利用の拡大 既存都市の拡大や新たな都市の発生
4. 環境汚染	過剰な窒素やリン分による富栄養化や化学物質などによる河川・海洋・土壌汚染の増加 浮遊物質や煤、化学物質による大気汚染の増加
5. 水資源	枯渇や汚染による利用可能な淡水の減少
6. 人口	地域や国全体の人口増加 国全体の人口増減とは無関係な都市人口の増加
7. 食糧	陸や海の食糧資源の減少
8. ライフスタイル	エネルギー・資源多消費型スタイルからの転換
9. 温暖化対策	緩和策・適応策の進捗
10. 環境と経済	環境コストの経済システムへの組込(化石燃料への課税など)やTEEB(生態系と生物多様性の経済学)の採用などの進捗 グリーンエコノミーの実現、持続可能な経済発展など、環境配慮型経済運営の進捗
11. 環境と社会	環境問題に対する認識や環境教育の進展 貧困問題の解決の改善
12. その他*	( )

\* 上の欄に新たな項目をご記入下さい

- 1-2 1-1 で選択した 3 つの項目それぞれについて、表 2 から選択した理由に近い番号を選んでご記入下さい。複数の場合はカンマで区切って下さい。その他(番号 6)の場合には、理由をご記入下さい。

表 2 表 1 の項目を選択した理由

番号	選 択 し た 理 由	番号	選 択 し た 理 由
1	観察されるケースの増加(頻度の増加)が最も大きい	4	多くの環境問題に共通する根本的な原因である
2	悪化の度合い(強度の増加)が最も大きい	5	環境問題の解決を遅らせている最大の要因である
3	影響度(被害の規模や金額など)が最も大きい	6	その他(回答欄にご記入ください)

選択した理由(複数の場合はカンマ区切りで重要度の順に記入)

第 1 位 ( )

その他の理由

第 2 位 ( )

その他の理由

第 3 位 ( )

その他の理由

- 1-3 1-1 で選択した 3 つの項目それぞれの現在の状況について、以下の 1～3 から選んでその番号をご記入下さい。

1. 3～5 年前より悪化している (時刻が進む方向)      2. 3～5 年前より改善している (時刻が戻る方向)      3. 3～5 年前とあまり変わらない (時刻は大きく変わらない)

現在の状況      第 1 位 ( )      第 2 位 ( )      第 3 位 ( )

## 問 2 地球環境問題に関するご意見

- 2-1 問 1 の 1-1 で選択した最も重要な項目(第 1 位)について、以下をご記入下さい。

- 2-1-1 何も対策が取られなかった場合、あなたがお住まいの国または地域の環境、または地球環境は、今から 10 年後ごろにはどのような状況になると想定されますか。想定される状況をご記入下さい。

---



---



---

- 2-1-2 想定される状況を回避するために、あなたと私達全員が今やらなくてはいけないことは何でしょうか。あなたのお考えを自由にご記入下さい。

---



---



---

2-2. その他、地球環境問題に関するご意見を自由にご記入下さい。

---

---

---

第23回 地球環境問題と人類の存続に関するアンケート  
調査報告書

---

発行日 平成26年9月  
制作・発行 公益財団法人 旭硝子財団  
〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-3  
サイエンスプラザ 2F  
TEL (03)5275-0620 FAX (03)5275-0871

\*本報告書に関するお問い合わせは  
当財団（担当：安田、宮崎）まで  
ご連絡下さい。



**af** 公益財団法人 旭硝子財団  
〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ2F  
*Phone* 03-5275-0620 *Fax* 03-5275-0871  
*E-Mail* post@af-info.or.jp  
*URL* <http://www.af-info.or.jp>